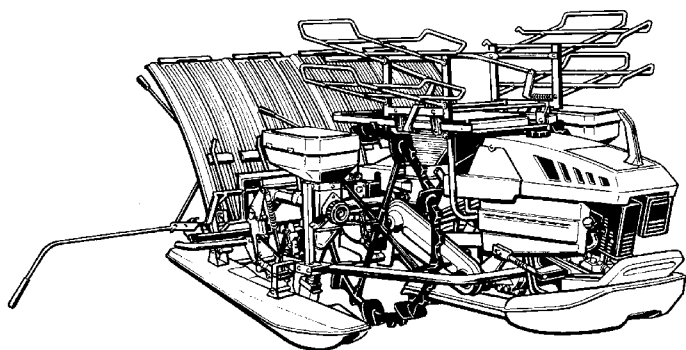


# クボタ植機

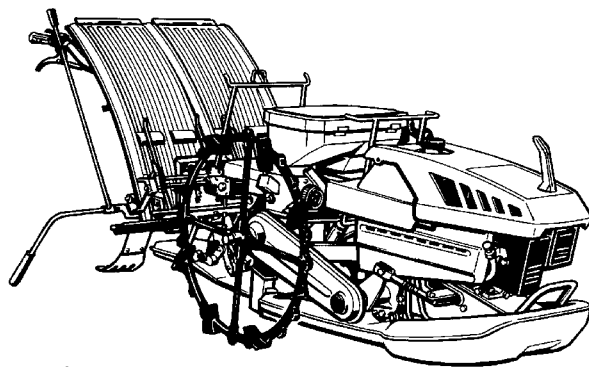
## 取扱説明書

# RAINBOW

# S1-20 40



P-1975



P-1976

ご使用前に必ずお読みください

Kubota

# 安全に作業するために

安全に作業をしていただくために、次のことを守ってください。

## 1. はじめに

取扱説明書をよく読み、機械の使い方をよく覚え、使用前は必ず機械を点検し、異常がないか確かめましょう。

## 2. 燃料の給油とエンジンの始動

- (1)燃料補給の際は、必ずエンジンを停止して行なうこと。火気厳禁です。
- (2)密閉した屋内で長時間エンジンをかけたままにしておくと、空気を汚しガス中毒をおこす危険があります。
- (3)エンジンを始動するときは、必ず変速を「中立」、主クラッチを「切」、植付けクラッチは、「機体固定」にしてください。

## 3. 作業中

- (1)前進・旋回・後退のときは周囲の人に合図をし、機械の付近に人がいないか、安全を十分確かめましょう。
- (2)動力伝導装置・回転部・車輪・植付け部などの危険な部分に接触しないように注意してください。
- (3)植付け作業中は絶対に「移動」速度にしないこと。
- (4)変速をするときは必ず主クラッチ・植付けクラッチを「切」にし、エンジンを低速にしてから操作してください。
- (5)苗を補給するときは、主クラッチ・植付けクラッチを「切」にし、エンジンを低速にしてから行なってください。

## 4. 積込み・積降ろし

- (1)丈夫なすべり止めをしたアユミ板を確実に固定し、周囲に人がいないことを確認してから行なってください。
- (2)積込み・積降ろし中にトラックが移動しないように、必ずトラックのサイドブレーキをかけてください。

## 5. 走行

- (1)走行に必要な植付けクラッチは「機体固定」にし、苗のせ台は中央に。
- (2)スピードはひかえめに。
- (3)ほ場や川などへ出入りする場合は必ずアユミ板を使い、スリップ・転覆・落輪のないよう、十分注意しましょう。
- (4)坂道での変速は絶対行なわないこと。

## 6. 点検・手入れ

- (1)平たんな場所でエンジンを止め、各クラッチを切り、機体を完全に止めてから、取扱説明書に従って行なってください。
- (2)植付け部や植付け爪などを調整・点検する場合、エンジン下部に台を置き、安定した状態で行ないましょう。
- (3)植付け爪など鋭利な形の部品の交換は、手を切らないように。
- (4)作業中又は作業後、高温部分(マフラなど)に触れるとヤケドをする危険があります。必ず冷えてから整備・点検などを行なってください。

## 7. その他

- (1)だぶついたズボン、上着など、回転部に巻込まれやすい服装は危険です。
- (2)機械を他人に貸す場合、取扱い方法をよく説明し、あらかじめ「取扱説明書」「安全のしおり」を読むように指導してください。
- (3)故障があれば、必ず直してから運転してください。

■以上田植機の取扱いで起こりがちなあやまちを未然に防いでいただくため、主だった注意事項を記載しました。これ以外にも本文の中で**安全ポイント**として、そのつどとり上げております。必ず守ってください。

# はじめに

このたびは田植機をお買いあげいただきましてありがとうございます。  
た。

この取扱説明書は、田植機の正しい取扱い方法、簡単な点検及び手入れについて説明してあります。

ご使用前によくお読みいただき十分理解され、お買いあげの田植機がいつまでもすぐれた性能を発揮するようこの冊子をご活用ください。お読みになった後必ず大切に保存し、わからないことがあったとき取出してお読みください。

また、皆さんの土地の実情とこの田植機に適合した育苗を、最寄りの試験場や普及員の方々に相談してください。

なお、製品の仕様変更などにより、お買いあげの製品とこの説明書の内容が一致しない場合がありますのであらかじめご了承ください。

この取扱説明書は仕様の異なった次の製品を合せて表示していますので、お買いあげの製品の仕様をお確めのうえ、おまちがいのないようお願いいたします。

- ハイデラックス……………「HDL仕様」、「HDS仕様」
- ハイデラックス(施肥装置付)………「HDLF仕様」、「HDSF仕様」
- デラックス(ロングフロート)………「DL仕様」
- デラックス(ショートフロート)………「DS仕様」
- 予備苗載台2段式……………「DL2仕様」、「DS2仕様」、  
「HDL2仕様」、「HDS2仕様」

説明は、S<sub>1</sub>-40HDLFを基本とし、S<sub>1</sub>-20HDLFと取扱いが異なる場合は、そのつど追加説明してあります。

# 目次

|                    |    |
|--------------------|----|
| サービスと保証について.....   | 1  |
| 各部の名称と装置の取扱い.....  | 2  |
| 各部の名称.....         | 2  |
| 装置の取扱い.....        | 3  |
| 作業前の点検について.....    | 7  |
| 始動前の給油と注油.....     | 7  |
| 上手な運転のしかた.....     | 10 |
| エンジンの始動と停止.....    | 10 |
| 路上走行のしかた.....      | 11 |
| 上手な植付けのしかた.....    | 13 |
| 田植作業のは場と苗の条件.....  | 13 |
| 植付け作業のしかた.....     | 17 |
| 田植作業前の準備.....      | 15 |
| 田植機の簡単な手入れと処置..... | 24 |
| 各部の点検と交換.....      | 24 |
| 各部の調整.....         | 27 |
| 長期格納時の手入れ.....     | 30 |
| 田植機の不調と処置.....     | 31 |
| 付表.....            | 34 |
| 主要諸元.....          | 34 |
| 主な消耗部品一覧表.....     | 35 |
| 付属部品.....          | 35 |
| オプション部品.....       | 36 |
| クボタ純オイル.....       | 36 |

## サービスと保証について

この製品には、保証書が添付してあります。

アフタサービスなどの詳細については保証書をご覧ください。

なお、ご使用中に万一故障した場合やご不審な点及びサービスに関するご用命は、お買いあげいただいた販売店・農協・弊社支店又は(株)クボタアグリに設けております「御相談窓口」にお気軽にご相談ください。

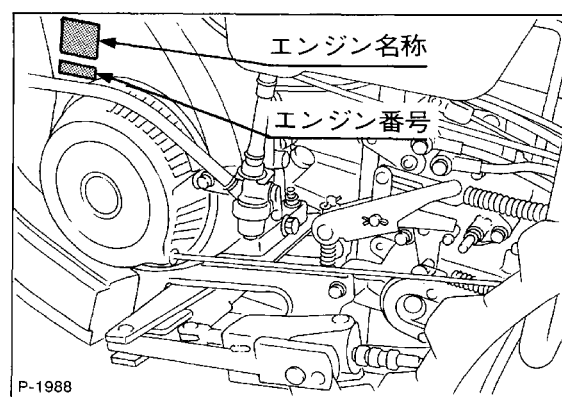
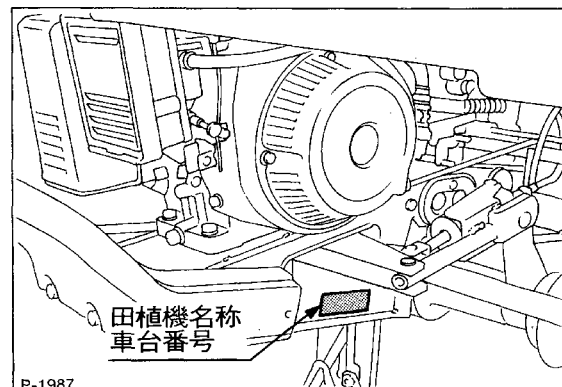
●ご相談の際には

(1)田植機名称と車台番号

(2)エンジン名称とエンジン番号

を併せてご連絡ください。

なお、部品ご注文の際は、販売店に純正部品表を準備しておりますので、そちらでご相談ください。



# 各部の名称と装置の取扱い

## 各部の名称

植付けクラッチレバー

チョークノブ

あぜぎわ調節レバー

【S<sub>1</sub>-20D】

主変速レバー

エンジンスイッチ

ローリングロックレバー

【S<sub>1</sub>-20HD】

スロットルレバー

マーカ  
操作レバー

操向クラッチ  
レバー

主クラッチレバー

スタータハンドル

苗取り量調節レバー

植付け深さ調節レバー

P-1989

ローリングレバー

【S<sub>1</sub>-40HD】

苗のせ台

予備苗のせ台

苗ステー

しゅう動板

マーカ

マスコット

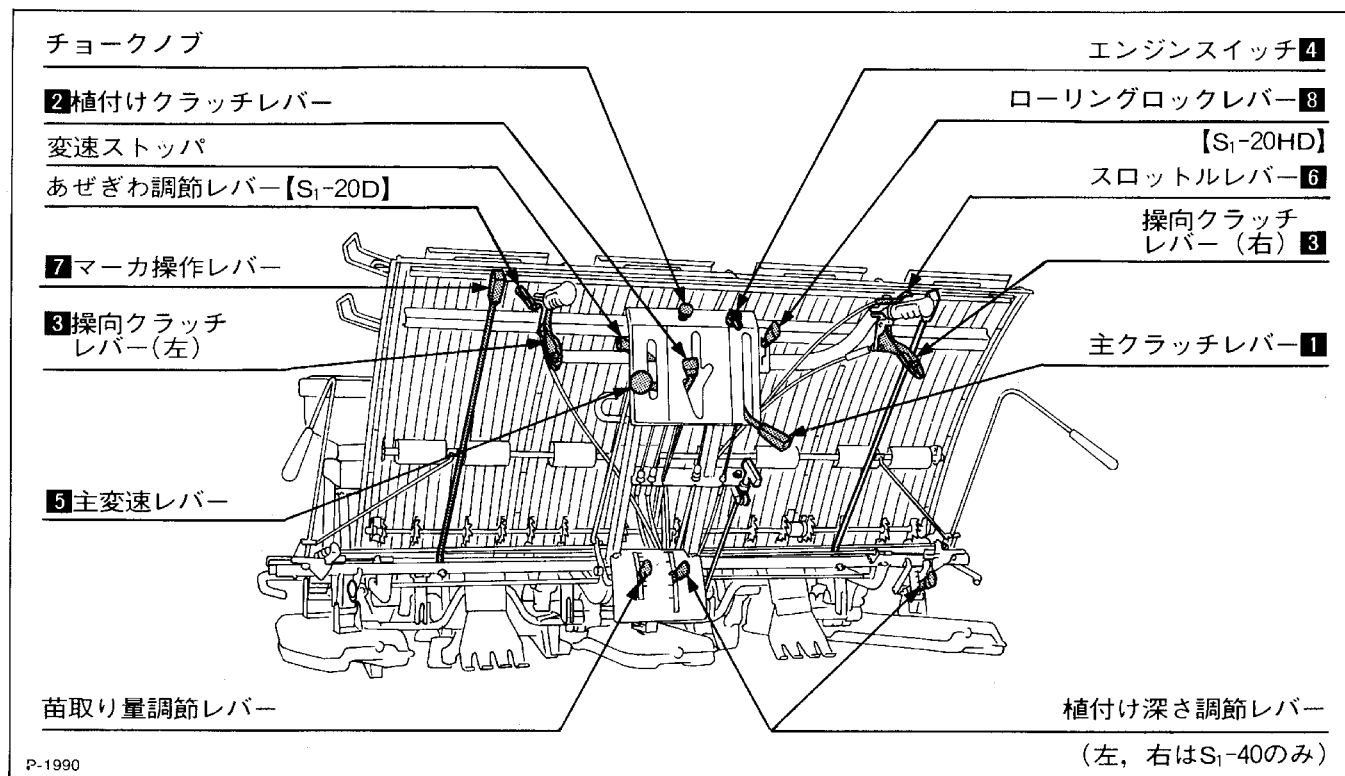
ライト

エアークリーナ

植付けアーム

P-1977

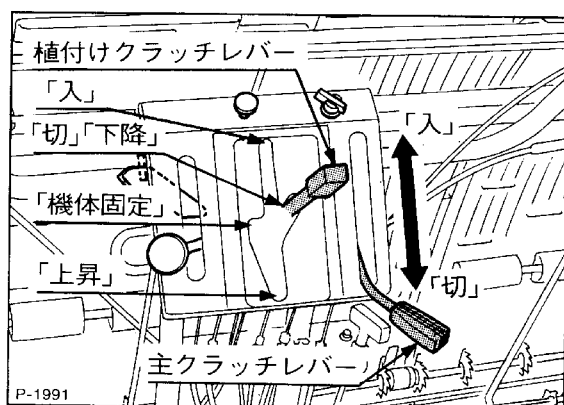
## 装置の取扱い



### 1 主クラッチレバー

「入」……エンジンからの動力が伝達され走行します。

「切」……エンジンからの動力が切れ、走行なくなります。又、植付け部の駆動も停止します。



### 2 植付けクラッチレバー

(1)「入」……植付けクラッチが入って植付け部が作動し、自動的に車輪が上下します。

(路上では機体が下降する)

(2)「切」……植付けクラッチが切れて植付け部が停止し、自動的に車輪が上下します。

(路上では機体が下降する)

(3)「機体固定」……植付け部は停止し、機体は固定されます。

(4)「上昇」……植付け部は停止し、機体は上昇します。

(5)「下降」……植付け部は停止し、機体は下降します。

#### 注意

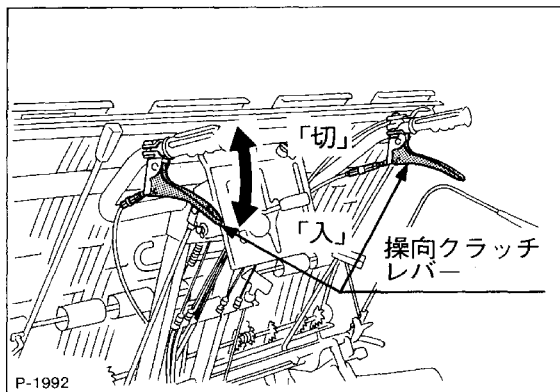
(1)道路走行・あぜ越えは、「機体固定」又は「上昇」で使用してください。

(2)「入」ではローリング機構は「解除」され、「入」以外では「ロック」されます。(S1-40DL, DSのみ)

### 3 操向クラッチレバー

「入」……左側を握ると左に旋回し、右側を握ると右に旋回します。また、両方を同時に握ると、両車輪共止まります。

「切」……車輪に伝達している動力が切れて、車輪が止まります。

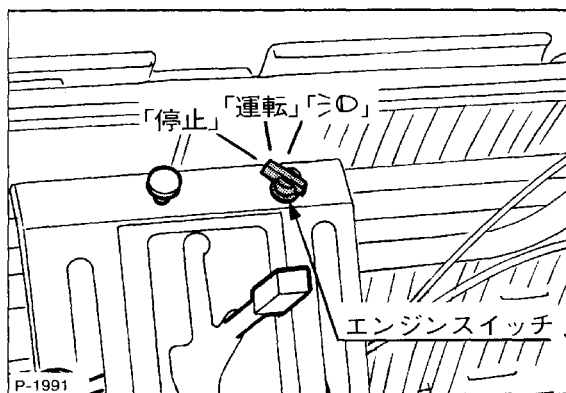


### 4 エンジンスイッチ

「停止」……エンジンが停止します。

「運転」……リコイルスタータハンドルを引けばエンジンが始動します。

「≧D」……ライトが点灯します。



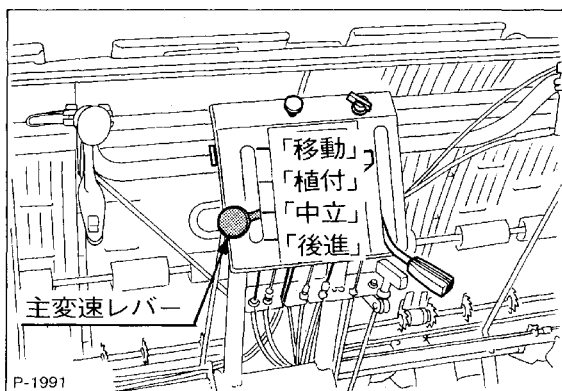
### 5 主変速レバー

「植付」……植付け作業用の速度です。

「移動」……移動走行用の速度です。

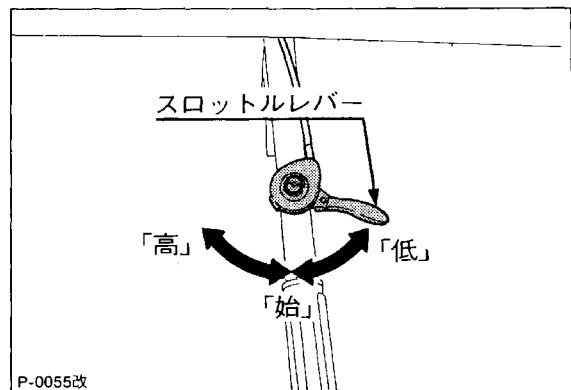
「中立」……中立

「後進」……バックします。



### 6 スロットルレバー

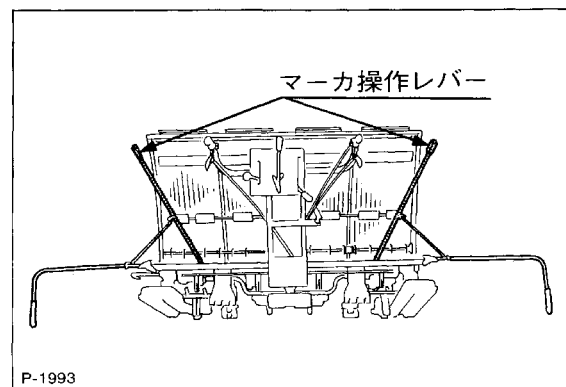
エンジン回転を調節します。



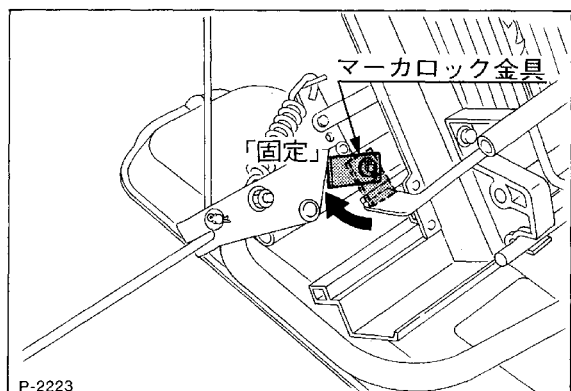
### 7 マーカ操作レバー

【S<sub>1</sub>-40】

植付けクラッチレバー「入」のとき、マーカ操作レバーを外側に倒すとマーカが倒れます。植付けクラッチレバーが「入」以外の位置では、マーカは自動的に収納されるので必ず「入」の位置で操作してください。

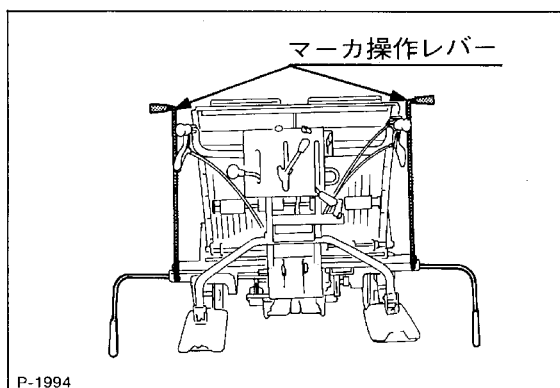


植付けクラッチレバー「切」の状態では、目印のマーカ線を引くこともできます。マーカ操作レバーでマーカを外側に倒したまま、マーカロック金具で固定してください。



### 【S<sub>1</sub>-20HDLF・HDSF】

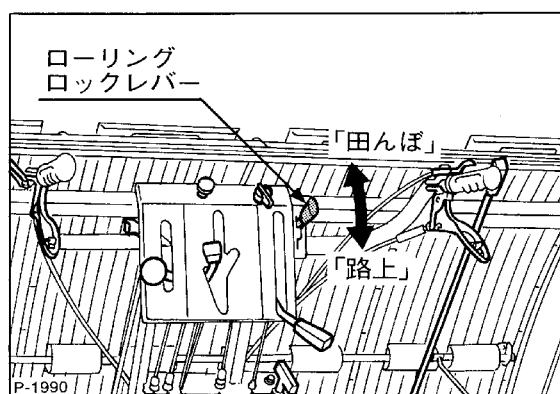
レバーを下方に押し下げるとマーカが倒れます。上方に引きあげると収納できます。



## 8 ローリングロックレバー

### 【S<sub>1</sub>-20HD】

植付け作業時は、レバーを「田んぼ」で使用し、路上走行時は「路上」で使用してください。



## ■油圧感度調節

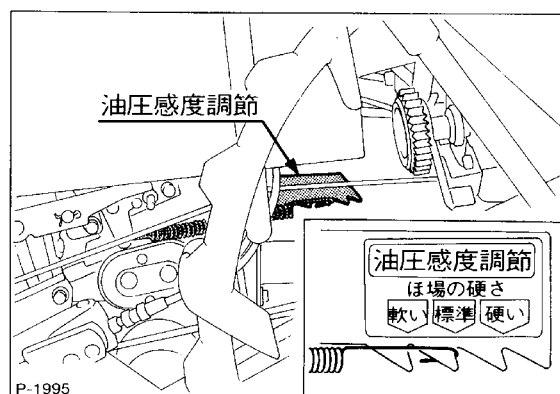
ほ場の状態に合わせて、油圧感度調節のセット位置を選択してください。

「標準」……………標準ほ場

「硬い」……………●耕うん、代かきが十分でないほ場

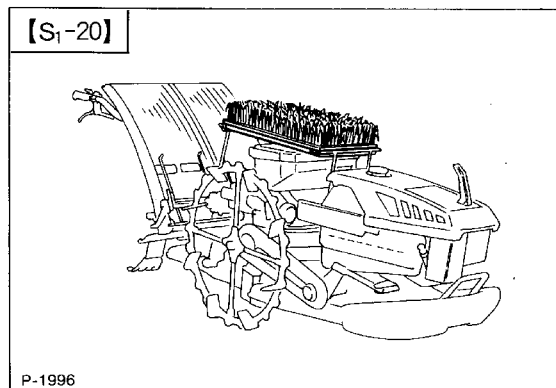
●ほ場の表面が硬すぎるほ場

「軟い」……………ほ場の表面が軟かすぎるほ場



## ■予備苗のせ台

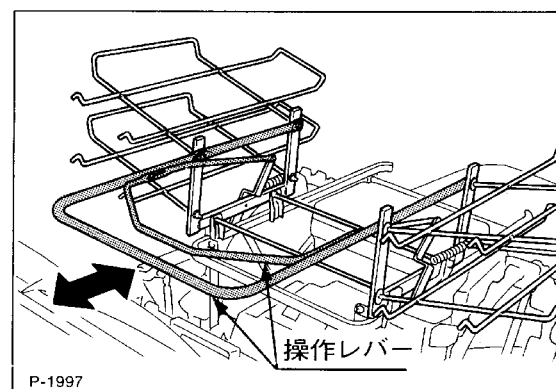
長いほ場で作業するときは、途中で苗補給が便利のように、予備苗のせ台に苗を積んでいくことができます。



### 【S<sub>1</sub>-40】

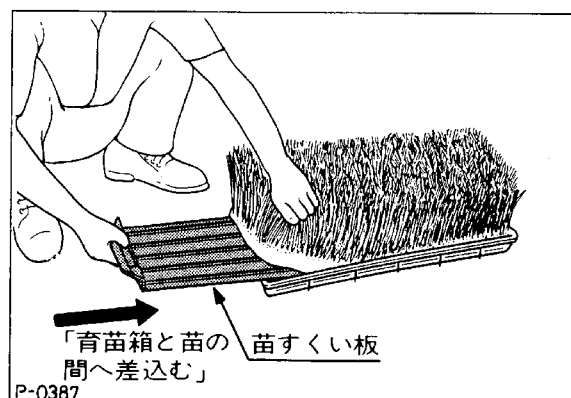
予備苗のせ台の苗を、苗のせ台に移す場合は、次の要領で行ないます。

- ① 操作レバーを握り予備苗のせ台を手前に引張ります。苗補給後、再び操作レバーを握り、予備苗のせ台を前方に押ししてください。



- ② 苗をのせる。苗すくい板に苗を移してのせると作業能率が上がります。

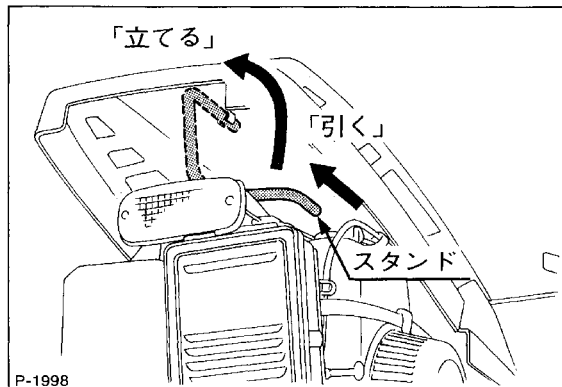
（苗すくい板はオプション部品になっております）  
（ので必要な枚数を販売店でご購入ください）



## ■ボンネットの開けかた(ランプ使用時)

ボンネットの先端を持ってゆっくり持ち上げてください。内部のはめ込みが外れて開きます。

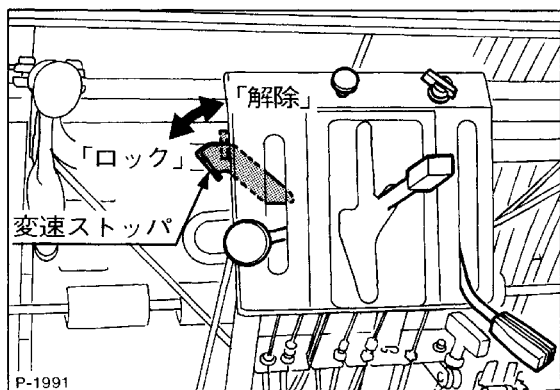
スタンドを立て、先端をゆっくり押し込めてください。



## ■変速ストッパ

植付け作業時は、ストッパを「ロック」状態で使用し路上走行時等「移動」の場合は、ストッパを「解除」にして使用してください。

「ロック」位置では植付け作業中の変速が容易になります。

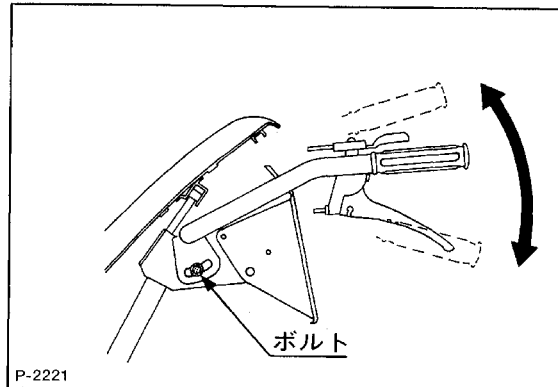


## ■ハンドル高さの調節

締付けボルトをゆるめ、左右のハンドルをいっしょに上下させ、使いやすい高さに調節し、ボルトを締付けて固定してください。

### 注意

- 左右のハンドルは、同じ高さになるようにしてください。



# 作業前の点検について

## 始動前の給油と注油

### 注意

- この田植機は、工場出荷時各部には給油していませんので、必ず使用前に給油してください。  
オイルを入れないまま運転しないでください。
- (1)燃料補給の際は、ゴミや水が混入しないようにしてください。
- (2)燃料キャップが締まっているかを確認してください。
- (3)エンジンオイルの給油及び点検は、必ずエンジンを水平にして行なってください。

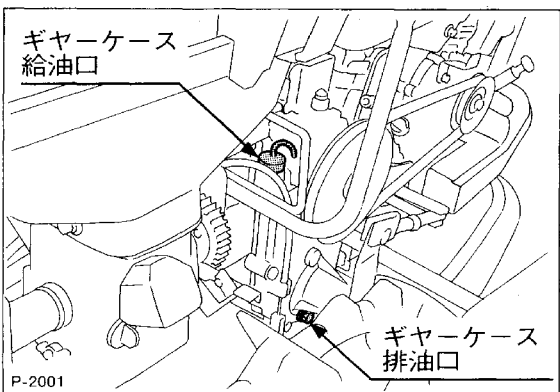
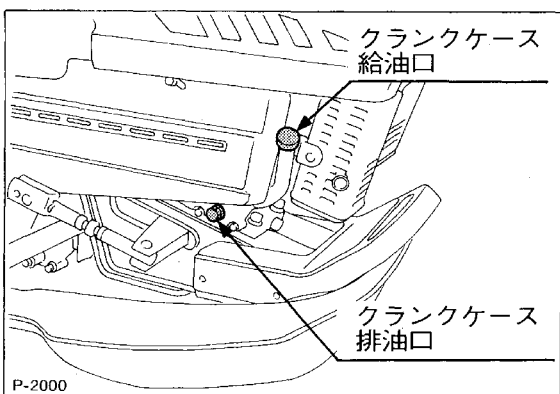
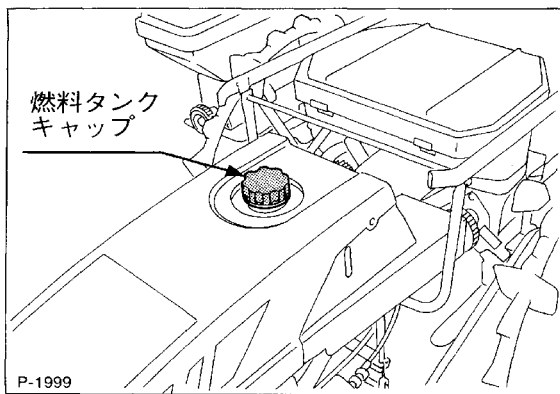
- (4)エンジンオイル給油の際は、付属のジョウゴを使えば楽に給油できます。

### 安全ポイント

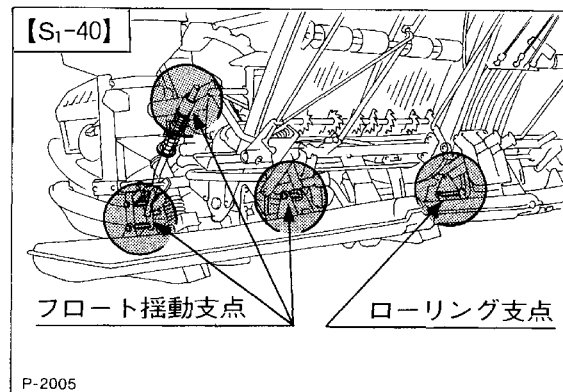
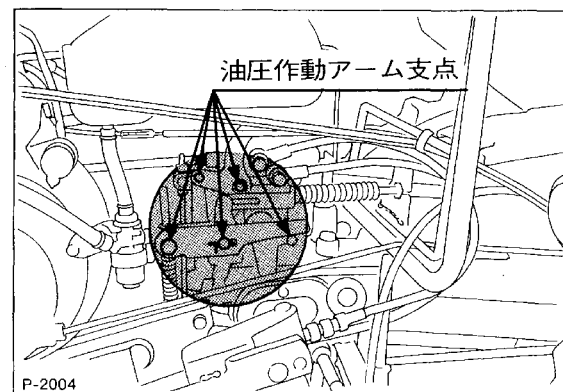
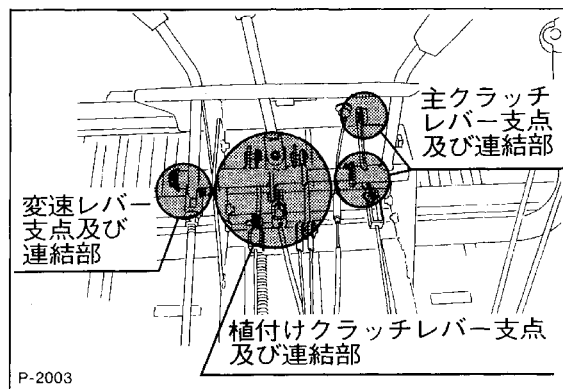
- (1)給油中エンジン停止。
- (2)給油中火気厳禁。(タバコを吸わないこと)
- (3)こぼれた燃料は完全にふき取る。
- (4)機体を最も低い位置にする。
- (5)機体を水平にして給油。

毎日エンジン始動前に、下表の箇所に給・注油してください。

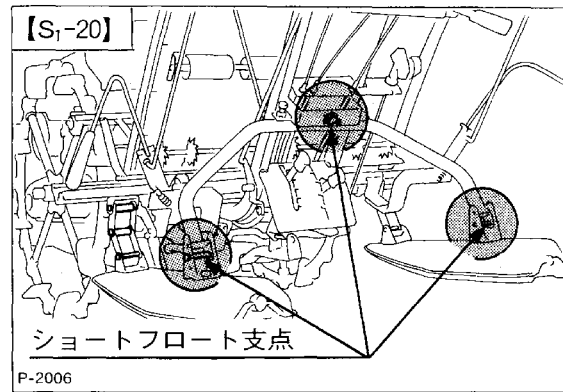
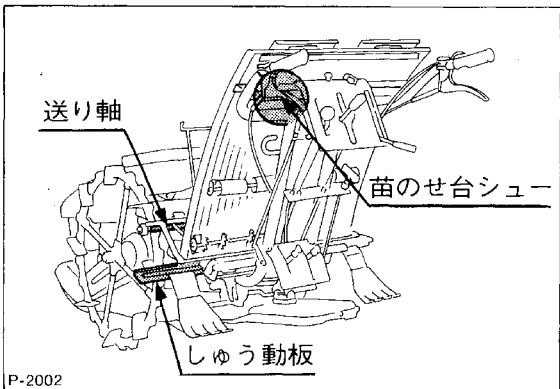
| 給 油 箇 所                            | 種 類                                        | 給 油 量                                                                                    |
|------------------------------------|--------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------|
| 燃料タンク                              | 自動車用レギュラガソリン<br>(無鉛)                       | 約2.7ℓ<br>(4～5時間植付け可能)                                                                    |
| エンジンクランクケース                        | クボタ純オイル, G30<br>(ガソリン・灯油エンジン用)             | エンジンを水平にして<br>オイルゲージの上限まで…<br>約0.45ℓ (S <sub>1</sub> -20)<br>約0.55ℓ (S <sub>1</sub> -40) |
| ギヤーケース                             | クボタ純オイル, M80B<br>(ミッション用)                  | オイルゲージの上限まで…<br>約2.0ℓ                                                                    |
| しゅう動板                              | グリース, 又はクボタ純オ<br>イル, G30<br>(ガソリン・灯油エンジン用) | 適 量                                                                                      |
| 苗のせ台シュー                            |                                            |                                                                                          |
| 送り軸                                |                                            |                                                                                          |
| 主クラッチレバー支点及び連結部                    | クボタ純オイル, G30<br>(ガソリン・灯油エンジン用)             | 適 量                                                                                      |
| 植付けクラッチレバー支点及び連結部                  |                                            |                                                                                          |
| 変速レバー支点及び連結部                       |                                            |                                                                                          |
| 油圧作動アーム支点                          |                                            |                                                                                          |
| フロート揺動支点                           |                                            |                                                                                          |
| ローリング支点                            |                                            |                                                                                          |
| ショートフロート支点【S <sub>1</sub> -20】     |                                            |                                                                                          |
| ローリングロックピン支点                       |                                            |                                                                                          |
| 車輪調節連結部                            |                                            |                                                                                          |
| 縦送り連結部                             |                                            |                                                                                          |
| センサロッド支点及び連結部                      |                                            |                                                                                          |
| 操向クラッチレバー支点                        |                                            |                                                                                          |
| 操向クラッチワイヤ及び連結部                     |                                            |                                                                                          |
| 各ワイヤ及び各ワイヤ連結部                      |                                            |                                                                                          |
| 予備苗のせ台ロックレバー支点【S <sub>1</sub> -40】 |                                            |                                                                                          |
| マーカレバー支点                           |                                            |                                                                                          |
| 施肥駆動部                              |                                            |                                                                                          |

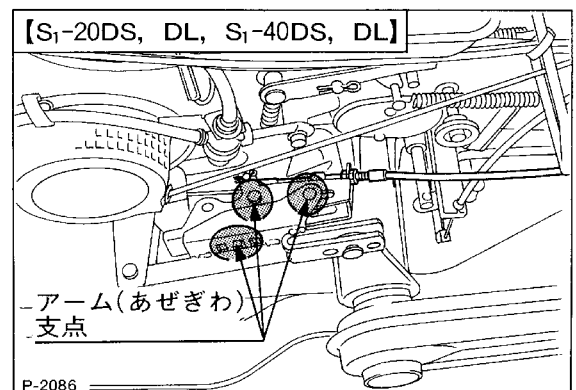
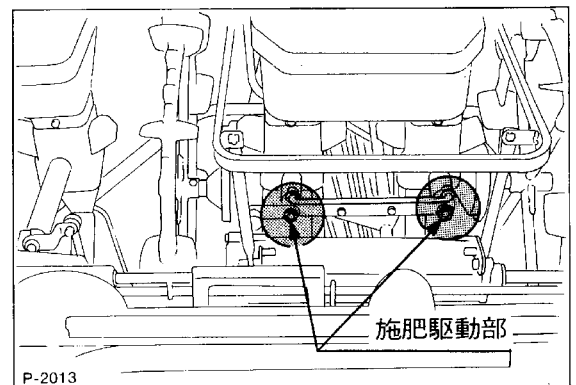
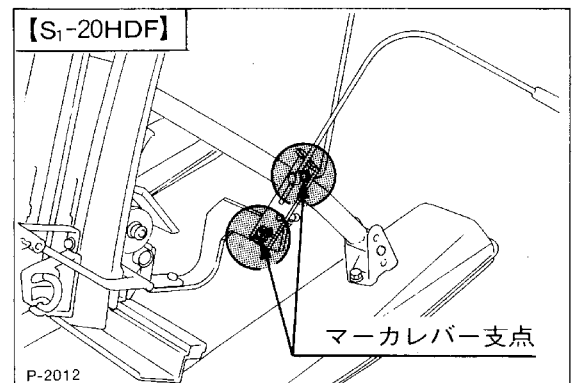
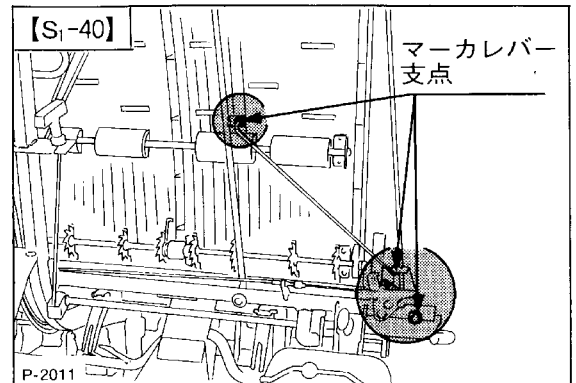
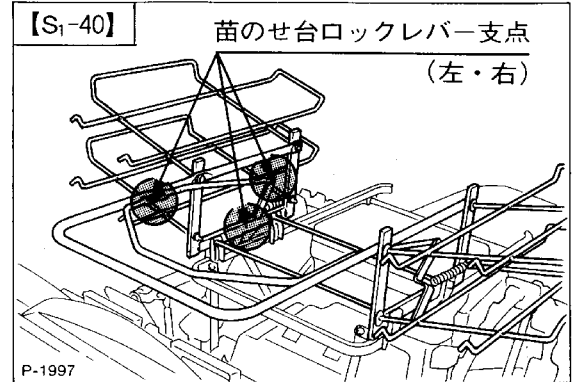
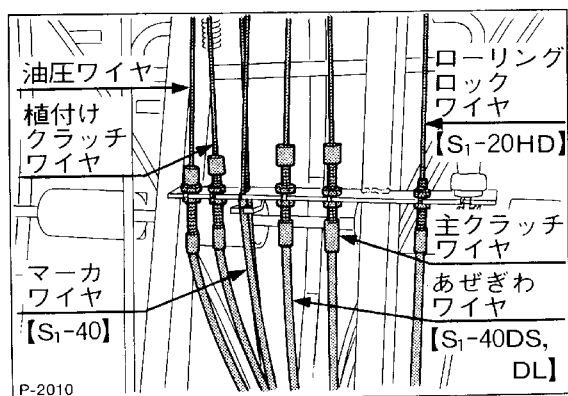
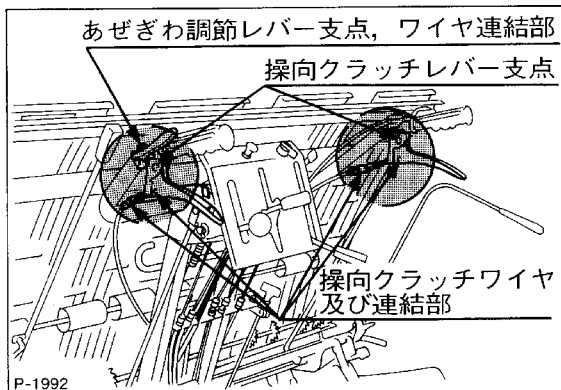
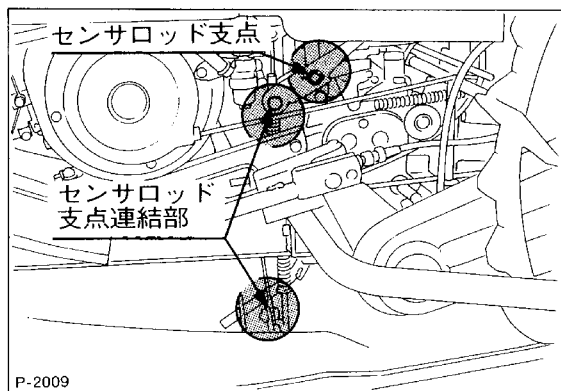
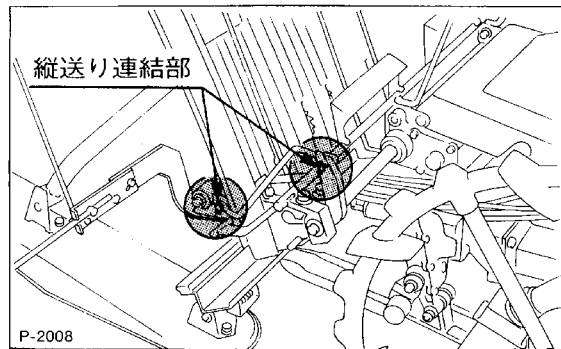
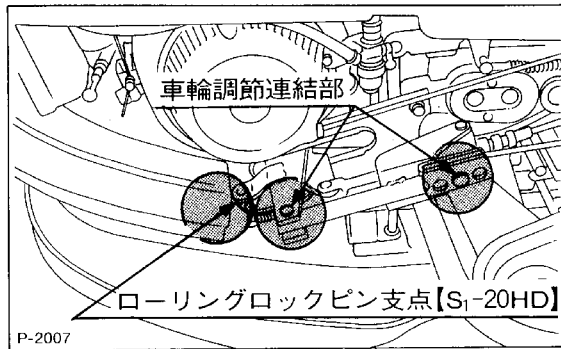


## ■オイル



## ■グリース



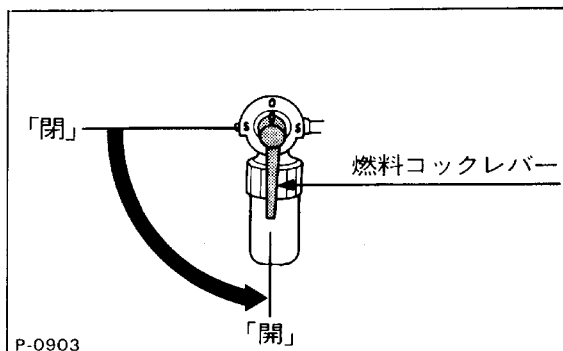


# 上手な運転のしかた

## エンジンの始動と停止

### ■始動のしかた

- ①燃料コックレバーを「開」にします。



- ②主変速レバーを「中立」位置にします。

- ③主クラッチレバーを「切」にし、植付けクラッチレバーを「機体固定」にします。

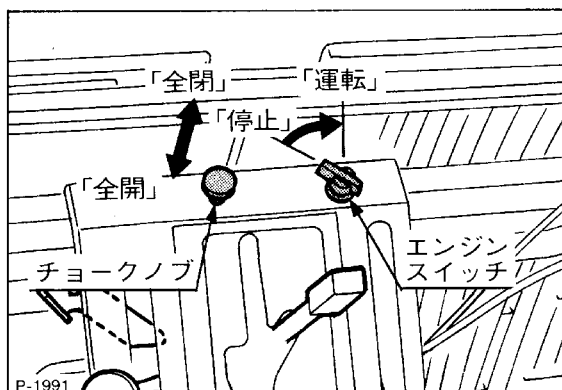
### 安全ポイント

- クラッチが入っていると、エンジンが始動すると同時に動き始め危険です。

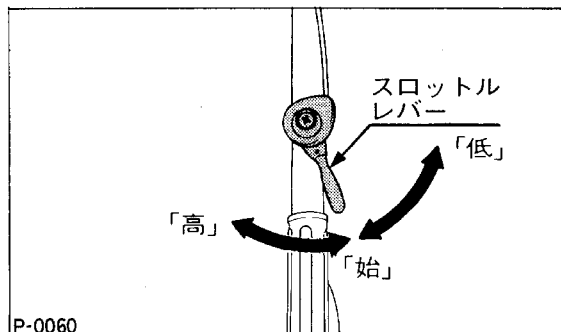
- ④エンジンスイッチを「運転」の位置にします。

- ⑤チョークを操作します。

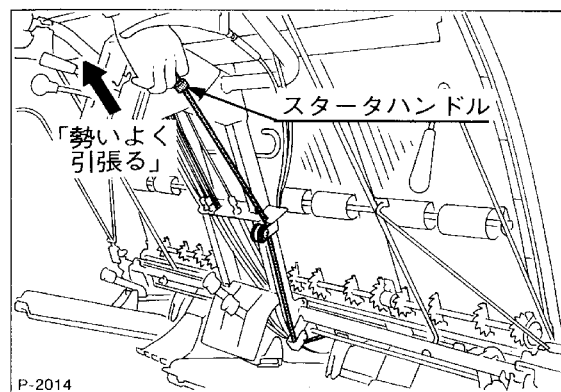
- エンジンが冷えているとき  
→「全閉」  
(「チョークノブ」を引く)
- 暖まった状態から再始動するとき  
→「全開」又は「半開」  
(「チョークノブ」を引かない)  
(又は少し引く)



- ⑥スロットルレバーを「始」の位置に合せます。



- ⑦スタータハンドルを勢いよく引張ると、エンジンが始動します。



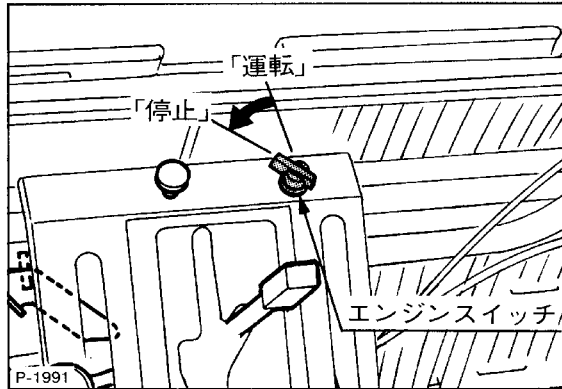
- ⑧始動したら、エンジンの回転調子をみながらチョークを徐々に「全開」にします。(「チョークノブ」を戻す)

### 注意

- エンジンが始動しても急に高速にせず、5分程度暖機運転してから作業を始めてください。

## ■停止のしかた

- ① スロットルレバーを「低」にして、3分ぐらい運転します。
- ② エンジンスイッチを「停止」の位置にします。



- ③ 燃料コックレバーを「閉」にします。

### 注意

- エンジンを止めた後、燃料コックが完全に閉じているかを確認する習慣をつけましょう。

### 安全ポイント

- エンジン停止後、しばらくはマフラーが高温になっていますので触れないようにしてください。  
▶ もし触れると……  
ヤケドをすることがあります。

## ■ならし運転

田植機各部になじみをつけるために、10アールぐらい使用するまではエンジンを高速回転させたり、過酷な使用は避けてください。

## 路上走行のしかた

### ■発進のしかた

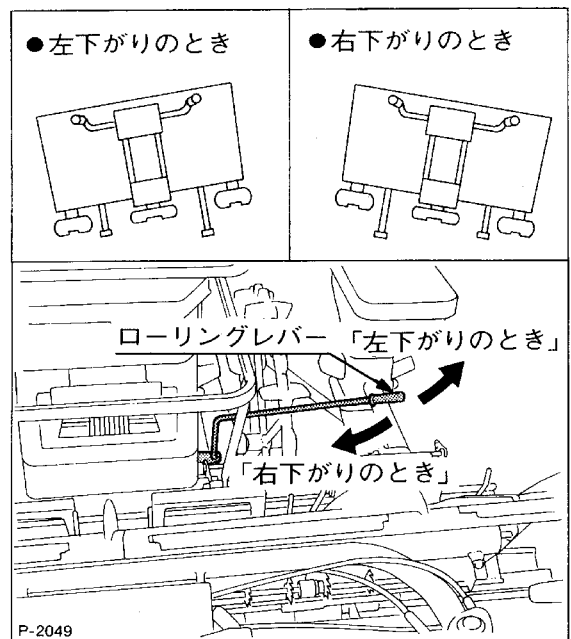
- ① エンジンを始動したら、スロットルレバーを「始」と「高」の間ぐらいに回してエンジン回転を少し上げます。
- ② 主変速レバーを「移動」位置にします。
- ③ 植付けクラッチレバーを「機体固定」位置にします。

### 注意

- 主変速レバーが「移動」・「後進」のときは、植付けクラッチレバーは必ず「機体固定」にしてください。
- ④ 主クラッチレバーを「入」にすると、前進します。

### 注意

- (1) レバーは、速やかに操作してください。
- (2) 走行時、機体が傾いている場合は、ローリングレバーを操作して水平に戻してください。【S1-40】



### ■停車のしかた

スロットルレバーを「低」の方に回し、主クラッチを切ると停車します。

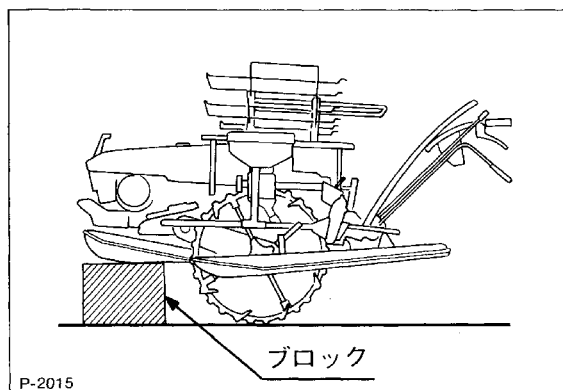
## ■路上走行時の注意

- (1) 田植機のプロートが路面に当たらないように、機体を上げた状態で走行してください。
- (2) 苗のせ台を中央にして走行してください。
- (3) 路上走行時は、苗を積まないようにしてください。
- (4) 坂道では、絶対に变速しないでください。
- (5) 路面が悪いところでは、できるだけ軽トラックなどで運搬するよう心がけてください。
- (6) 路上走行時には、ローリングロックレバーを「路上」位置にして、機体を水平で固定してください。

【S<sub>1</sub>-20HD】

### 注意

- (1) 路上で植付け部を回すときは、センタフロートの先端(センサロッドの位置)の下部に厚さ10～15cmの箱又はブロックを置き、ハンドルを持上げて操作してください。
- (2) 植付けクラッチを入ると機体の下がり、植付け爪が路面に当たって故障の原因になることがあります。



## ◆車両やトレーラで運搬する場合

植付けクラッチレバーを「切」にして機体を下げ、機体が左右に傾かないように注意してください。

### 注意

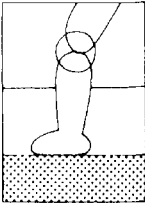
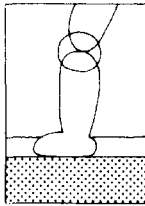
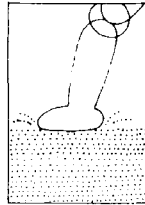
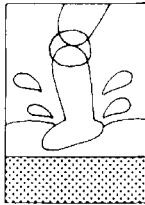
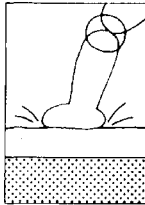
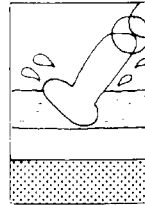
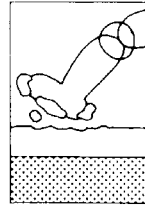
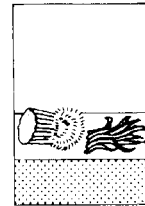
- (1) 植付け深さレバーを、いちばん「深」にセットしてください。
- (2) 予備苗のせ台には、ロープをかけないでください。
- (3) トラックの荷台からはみ出すような積み方は、絶対にやめてください。
- (4) マーカの操作レバーをハンドルにしばって、倒れないようにしてください。【S<sub>1</sub>-20HDF, S<sub>1</sub>-40】
- (5) フロートに無理な力をかけて、変形させないようにしてください。
- (6) ローリングロックレバーを「路上」位置にして、機体を水平で固定してください。【S<sub>1</sub>-20HD】

# 上手な植付けのしかた

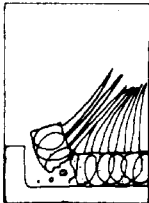
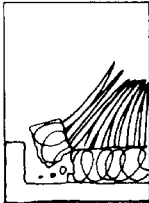
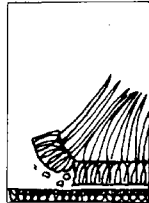
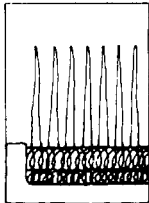
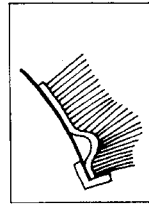
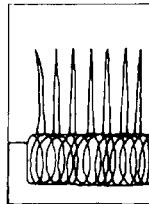
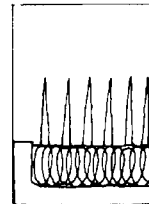
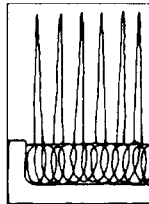
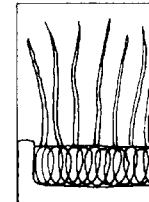
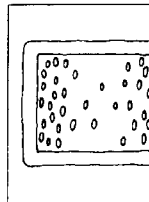
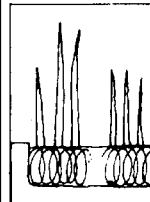
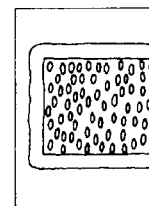
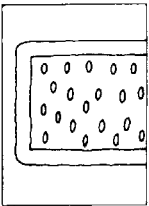
## 田植作業のほ場と苗の条件

上手な植付けを行なうには、ほ場の条件、苗の条件が良くなければ出荷状態でうまく使えないことがあります。次のような条件が予想される場合は事前に販売店、又は農協にご相談ください。

### ■ほ場条件

| 項 目 | 条 件（うまく使えないこともある状況）                                                                 |                                                              |                                                                                      |                                                            |
|-----|-------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------|
| 深 さ |    | ① 耕盤までの深さが30cm以上ある深いほ場。                                      |    | ② 耕盤までの深さが10cm以下の浅いほ場。                                     |
| 土 質 |   | ① 砂質の多いほ場（手植えでも植えにくいほどの硬いほ場）。                                |   | ② 強粘土質のほ場（歩くのが困難な粘いほ場）。                                    |
| 硬 さ |  | ① 代かき直後のほ場、又は代かき後いく日たっても固まらないトロトロの軟らかいほ場（歩いても足跡がすぐ埋まるようなほ場）。 |  | ② 代かき後、日数がたって硬くなったほ場、又は代かき後すぐに固まるほ場（手植えするにも指が痛くなるような硬いほ場）。 |
| 水 深 |  | ① 水深の平均が3cmを越える水の多いほ場。                                       |  | ② 水気がなく、車輪に泥がまつわりつくようなほ場。                                  |
| 夾雑物 |  | ① 裏作跡などで、刈り株・排ワラ又は雑草が十分腐らず、代かき後も表面に多量に露出しているほ場。              |                                                                                      |                                                            |

# ■苗条件

| 項 目 | 条 件 (うまく使えないこともある状況)                                                                |                             |                                                                                       |                           |
|-----|-------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------|
| 苗 床 |    | ①砂質が多く、苗床が崩れやすい苗。           |     | ②根張りが悪く、苗床が崩れやすい苗。        |
|     |    | ③根張りはよいが、根を切ったために苗床が崩れやすい苗。 |     | ④根の張り過ぎた、植付け爪のささりにくい苗。    |
|     |    | ⑤苗床厚(マット厚)が2 cm以下の、薄い苗。     |     | ⑥苗床厚(マット厚)が4cm以上の、厚い苗。    |
| 草 丈 |   | ①草丈が8 cm以下の、短い苗。            |    | ②草丈が20cm以上の、長い苗。          |
| 素 質 |  | ①軟弱徒長苗。                     |    | ②播種ムラのひどい苗。               |
|     |                                                                                     |                             |  | ③成育ムラやハゲた部分のある苗。          |
| 播種量 |  | ①催芽もみで、1箱当り250g以上の、厚播きの苗。   |   | ②催芽もみで、1箱当り100g以下の、薄播きの苗。 |

P-0280

育苗方法は各地区ごとに詳しい指針，指導要領がありますので，普及所や指導機関によくご相談ください。

## 田植作業前の準備

### ■株数の決定と調節

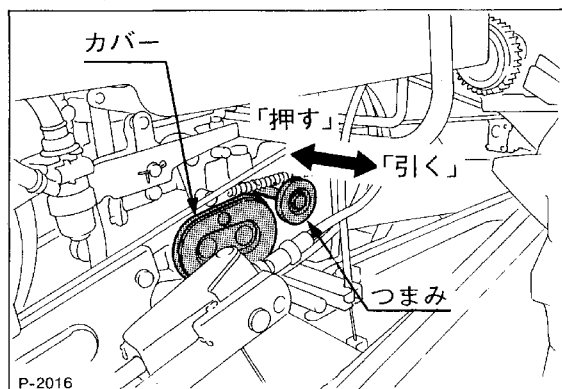
植付け株数は、株間調節つまみとギヤーを交換することによって選択してください。

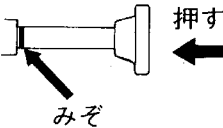
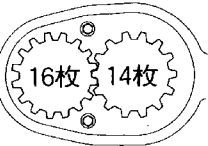
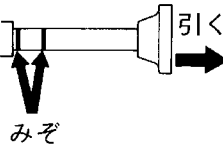
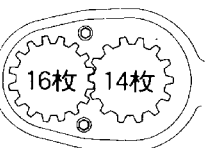
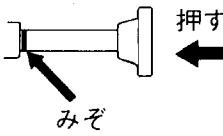
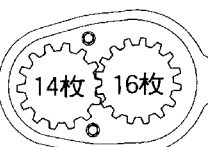
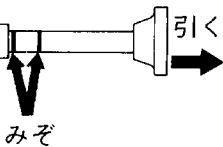
#### 安全ポイント

- ギヤーの交換は、必ずエンジンを停止して行なってください。

#### 注意

- 株間調節つまみを操作するときは、次の要領で調節してください。
  - ・主変速レバーを「中立」
  - ・エンジンを「低速」
  - ・植付けクラッチレバーを「機体固定」
  - ・主クラッチレバーを「入」

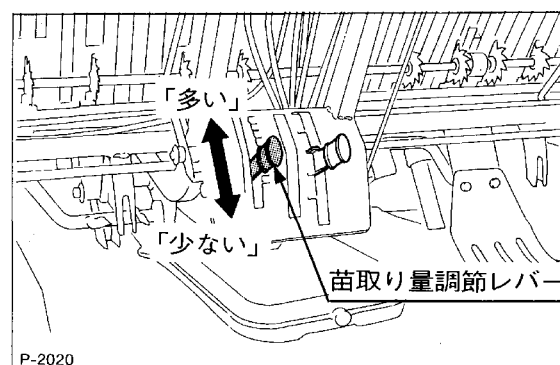


|                               | 株間調節<br>つまみの位置                                                                       | 交換ギヤーの<br>位置                                                                         |
|-------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------|
| 90株<br>(株間<br>12cm)<br>P-2017 |    |   |
| 80株<br>(株間<br>14cm)<br>P-2017 |    |   |
| 70株<br>(株間<br>16cm)<br>P-2017 |    |   |
| 60株<br>(株間<br>18cm)<br>P-2017 |  |  |

- 上記以外の株間用ギヤーは、オプション部品として準備しています。(36ページ参照)

### ■苗の使用量

10アール当りの苗の使用量は、栽植密度と1株の植付け本数によって決まります。下記に示す表は、標準苗取り量の目安です。播種量は稚苗200～220g、中苗100gを基準として算出してあります。実際には、余裕をみて多めに準備してください。また、苗取り量を変えると必要な箱数も変わってきます。

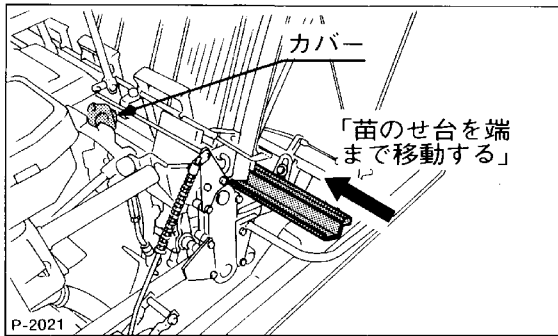


| 隣<br>接<br>条<br>間<br>(cm) | 株 間 12cm                |                   |    | 株 間 14cm                |                   |    | 株 間 16cm                |                   |    | 株 間 18cm                |                   |    |
|--------------------------|-------------------------|-------------------|----|-------------------------|-------------------|----|-------------------------|-------------------|----|-------------------------|-------------------|----|
|                          | 3.3㎡当りの<br>植 付 け<br>株 数 | 10アール当りの<br>所要苗箱数 |    | 3.3㎡当りの<br>植 付 け<br>株 数 | 10アール当りの<br>所要苗箱数 |    | 3.3㎡当りの<br>植 付 け<br>株 数 | 10アール当りの<br>所要苗箱数 |    | 3.3㎡当りの<br>植 付 け<br>株 数 | 10アール当りの<br>所要苗箱数 |    |
|                          |                         | 稚苗                | 中苗 |                         | 稚苗                | 中苗 |                         | 稚苗                | 中苗 |                         | 稚苗                | 中苗 |
|                          |                         |                   |    |                         |                   |    |                         |                   |    |                         |                   |    |
| 28                       | 95                      | 20                | 41 | 85                      | 17                | 36 | 75                      | 15                | 31 | 65                      | 14                | 28 |
| 30                       | 90                      | 19                | 40 | 80                      | 16                | 34 | 70                      | 14                | 30 | 60                      | 13                | 26 |
| 33                       | 85                      | 18                | 38 | 75                      | 15                | 33 | 65                      | 14                | 29 | 55                      | 12                | 26 |

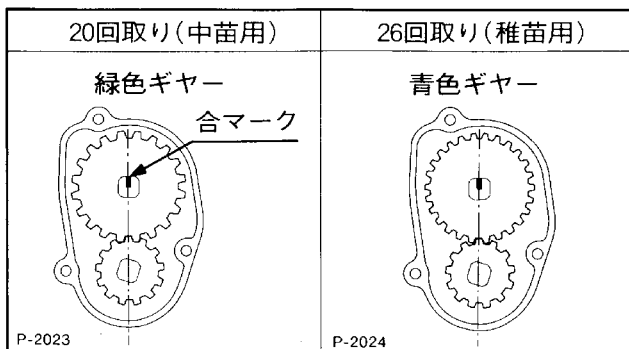
## ■横送り量の調節

苗の種類(稚苗・中苗)により苗のせ台の横送り量を切替えることができます。

- ① 苗のせ台を右端又は左端に移動させます。



- ② 縦送り直後に植付けクラッチを切ります。(端から1株目を取る直前)  
 ③ エンジンを「停止」にします。  
 ④ カバーを外し、植付け爪先端が苗取り直前にあることを確認し、シャフトの合マークを下図の位置にしてギヤを組替えてください。  
 ⑤ カバーを取付けます。



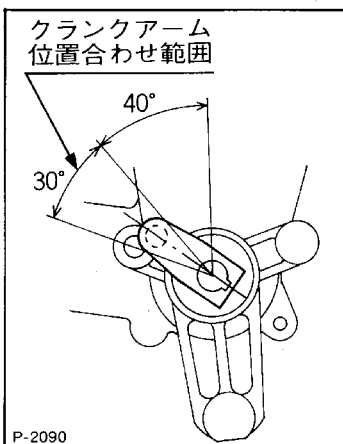
◆ 誤って切換えて、縦送りのタイミングがずれたときは次のように調節してください。

- ① 苗のせ台を右端又は左端に移動させます。  
 ② 縦送り直後に主クラッチだけを切ります。  
 ③ エンジンを止めます。

- ④ 植付けアームを手で回してクランクアームを真上より40°～70°遅らせた位置まで動かします。

- ⑤ カバーを外し、ギヤを抜いてシャフトの合マークを上図の位置にしてギヤを組付けます。

- ⑥ カバーを取付けます。



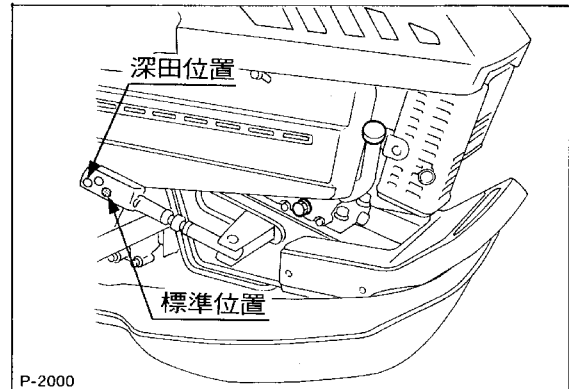
## ■車輪深さの調節

ほ場の深さに応じて車輪の深さ(下がり量)の調節ができます。

- 車輪調節連結部の穴位置を、下記の耕深を目安に組替えてください。

標準位置……耕深5～30cm

深田位置……耕深18～40cm



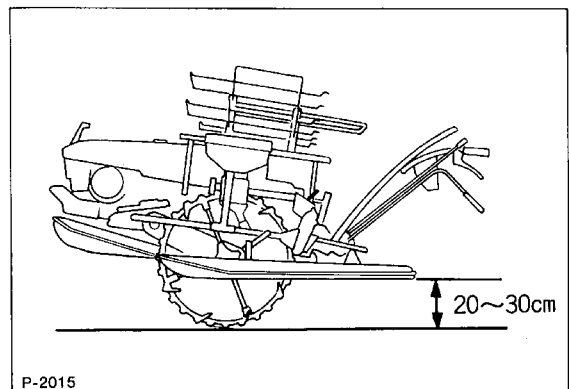
- 出荷時は標準位置にセットしています。  
 ● 穴位置を変えるときは、左右のロッド調節を同じ位置にセットしてください。

### 注意

- 30cm以上のほ場で標準位置のまま使用すると、車輪がスリップして走れないことがあります。

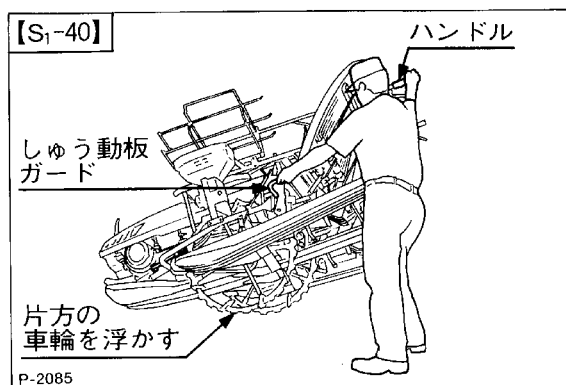
### ◆調節方法

- 路面はできるだけ平坦な所で、2人作業を基本に行なってください。  
 ● 本機には苗及び肥料は入れないでください。  
 ① 主クラッチレバーは「切」の位置で、植付けクラッチレバーを「上昇」にして、機体を上昇させてフロートの高さが20～30cm位の高さでレバーを「固定」位置にしてください。

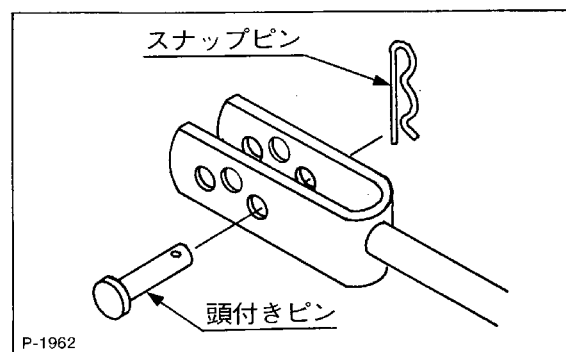


- ② エンジンを「停止」にしてください。

- ③一人が左側のハンドルを持上げて、左の車輪が地面より少し浮いた状態で支えておいてください。



- ④もう一人が、車輪調節連結部のスナップピンを外し頭付きピンを抜いてください。
- ⑤手で車輪を上下させて、希望の調節位置に、頭付きピンとスナップピンを組付けてください。



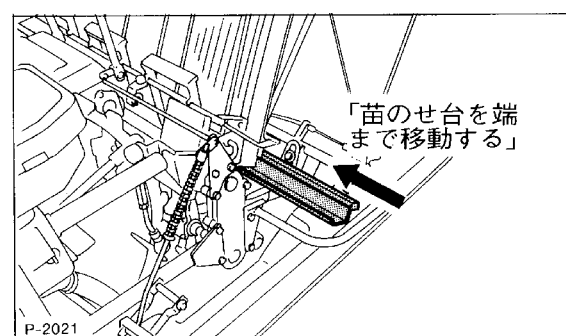
- ⑥前記(③～⑤)と同じ要領で右側も同じ位置に頭付きピンを組替えてください。

(施肥装置付は穴が2箇所です。)

## 植付け作業のしかた

### ■植付け作業の順序と方法

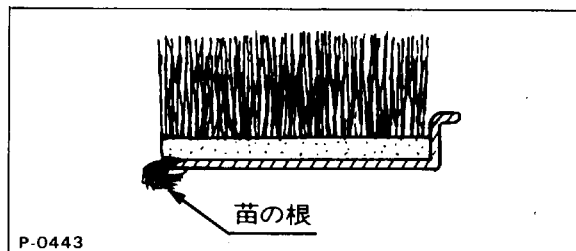
- ①ほ場に入り、主変速レバーを「中立」にします。
- ②S<sub>1</sub>-20HDでは、ローリングロックレバーを「田んぼ」にします。
- ③植付けクラッチレバーを「入」、主クラッチレバー「入」にし、苗のせ台を右端又は左端に寄せます。
- ④縦送り直後に植付けクラッチレバー及び主クラッチレバーを「切」にし、植付け爪を停止させます。



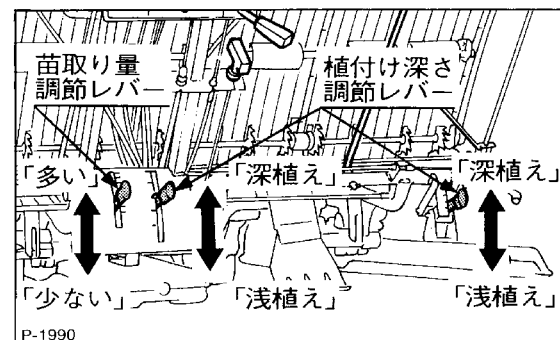
- ⑤苗を苗のせ台にていねいにのせます。

### ■注意

- 苗すくい板の先端に苗の根がからみついて固まりができることがあります。この根は必ず取除いてください。そのまま入れると欠株の原因になります。



- ⑥植付け深さ調節レバー・苗取り量調節レバーを、希望する位置にセットしてください。



- ⑦主変速レバーを「植付」位置にセットします。
- ⑧植付けクラッチレバーを「入」にします。
- ⑨エンジン回転を「中速」にして主クラッチレバーを「入」にし、植付けを開始してください。

### ■ローリング機構

左右の車輪位置の耕盤深さが異なっても、機体を常に水平に保つ装置がローリング装置です。

植付け作業中は、ローリング機構が働いて走行が安定します。

### ■安全クラッチ

- (1)植付け作業中、植付け部が停止し、ガッガッと高い音がしたときは安全クラッチが働いています。
- (2)安全クラッチが働いたなら、すみやかに植付けクラッチレバーを「切」にし、エンジンを止めて、障害物を取除いてください。
- (3)安全クラッチが作動して、ガッガッと音がする状態で作業を続けると、爪が破損したり、安全クラッチが摩耗して作動しやすくなり、植付けミスが起こりやすくなります。
- (4)障害物を取除いたあと、植付け爪が軽く回転するか、しゅう動板に当たらないか、爪が曲がったり破損していないかを確認し、植付けを再開してください。

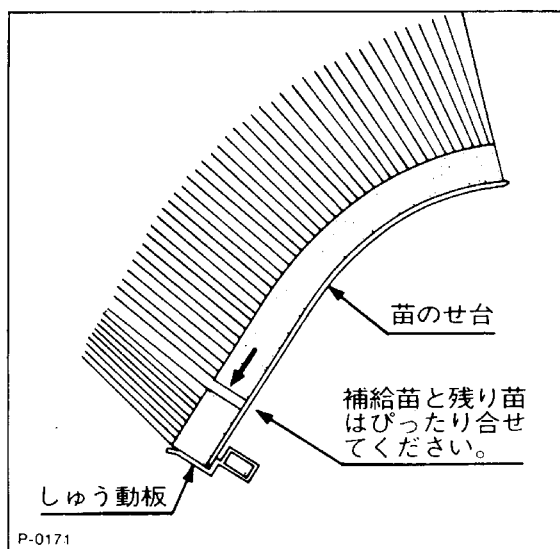
## ■苗の補給

苗のせ台の苗の残りが、赤線の位置にくるまでに苗を補給してください。



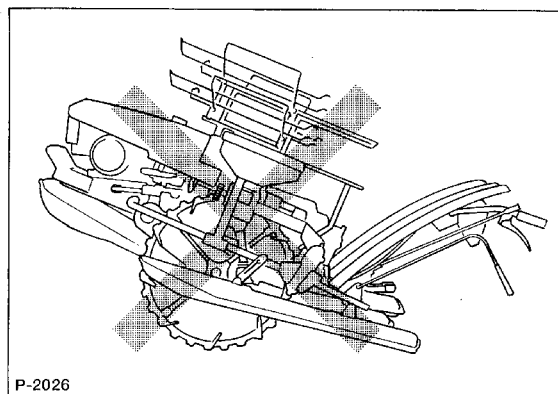
ほ場の長さを考えて、旋回の際に補給するようにしましょう。

- (1)補給するときは、植付けクラッチレバーを「切」にした状態で、主クラッチを切ってください。
- (2)補給するとき、苗のせ台を左右の端に移動させる必要はありません。  
苗がまったく無いときだけ端に移動させます。
- (3)補給苗はていねいに扱い、苗との境目がぴったり合うようにしてください。



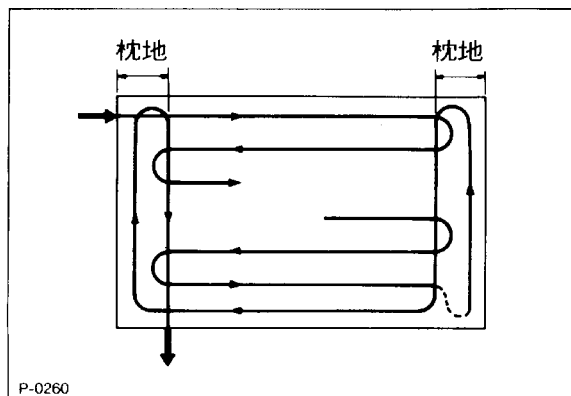
### 安全ポイント

- 苗補給の際、機体を上昇させたあと後方に倒すような方法は危険ですので絶対に行なわないでください。



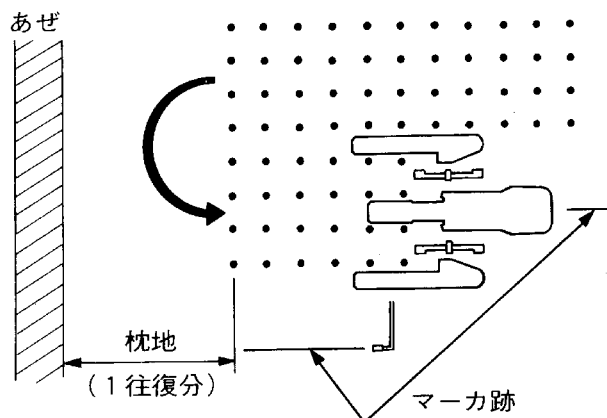
## ■枕地のとり方

- ①枕地はあらかじめ(約1往復分)残して植付けます。
- ②植え始めは、ほ場の長辺方向のあぜにまっすぐな側から植付けます。



## ■旋回のしかたとマーカの使い方

- ①エンジン回転を下げ、植付けクラッチレバーを「切」にします。(S<sub>1</sub>-40のマーカは自動的に収納します。)
- ②ハンドルを持上げながら旋回する側の操向クラッチレバーを握れば旋回します。
- ③旋回が終れば、隣接条間が合うようにハンドルで操作してください。



#### ④【S<sub>1</sub>-40】

植付けクラッチレバーを「入」にして、マーカレバーを倒し、適当な作業速度で植付けてください。

#### 【S<sub>1</sub>-20】

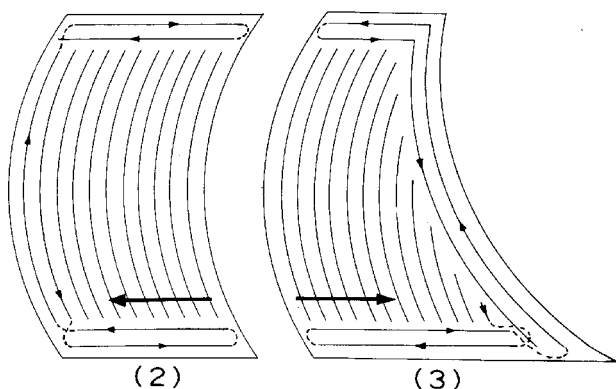
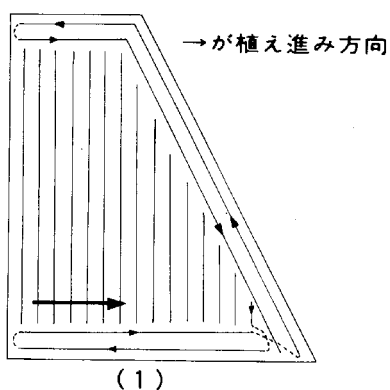
植付けクラッチレバーを「入」にして、車輪(HDFはマーカ跡)にそって適当な作業速度で植付けてください。

#### 注意

- (1)水が深すぎるとマーカ跡が見えにくくなりますので、1~2cmのヒタヒタ水程度にしてください。
- (2)旋回時は、ボンネット先端のマスコットがマーカ跡に合うように旋回してください。

#### ◆植え進み方向(下図参照)

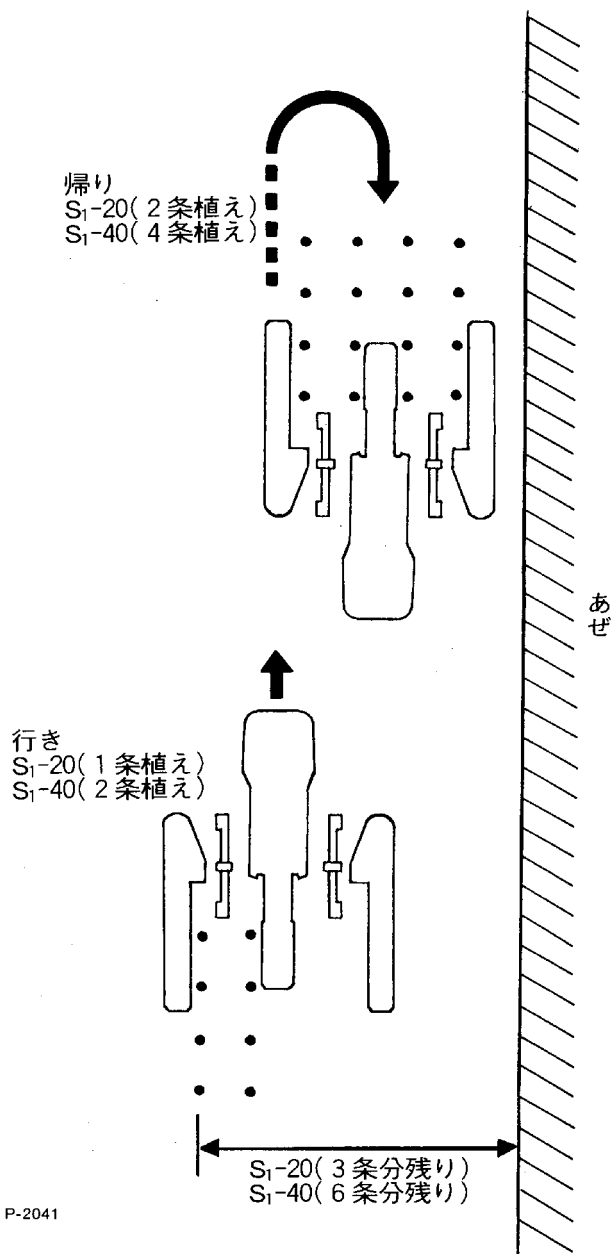
- (1)植え進み方向は、ほ場の長辺方向のあぜのまっすぐな側から植えます。
- (2)両側のあぜが曲っているほ場では、内側から順に植えます。
- (3)両側が曲った三角形のほ場では、曲りの少ない方から植えます。



P-0168

#### ■あぜぎわの植付け

あぜぎわでの植付けは、最終の植付け条数を使用機械の条数に合せる必要があります。そのときは、苗ストッパを使って下図のような植付け方法で植付けてください。

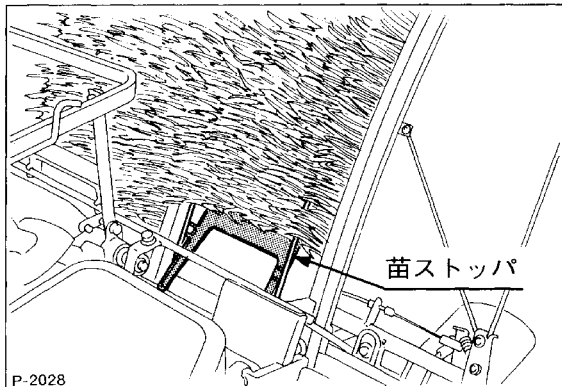


P-2041

### ◆苗ストップパの調節

苗を引上げて苗ストップパを下げ、苗ストップパに苗をのせると植付部への苗供給が止まり、植付けが停止します。

あぜぎわを植付ける際に使用してください。

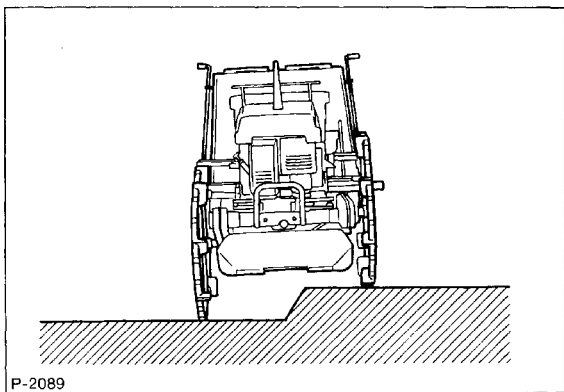
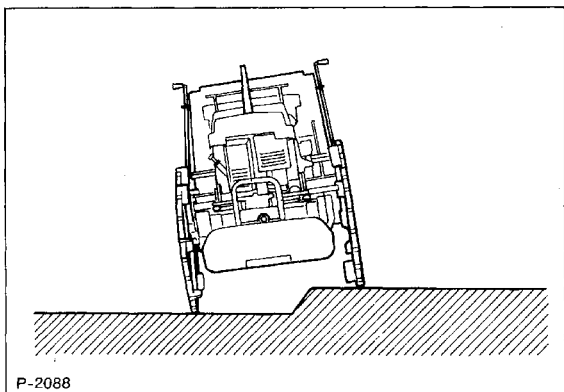


### ◆植付け水平調節【S<sub>1</sub>-20DL, DS】

あぜぎわ植付けや機体が左右に傾く場合は、次のようにあぜぎわ調節レバーで水平を調節しながら植付けてください。

#### ●調節方法

- ① あぜぎわ調節レバーを握ります。
- ② 機体が水平になるよう、ハンドルで機体を傾けます。
- ③ あぜぎわ調節レバーを離して固定し、植付けます。



### ■植付け作業中の調節

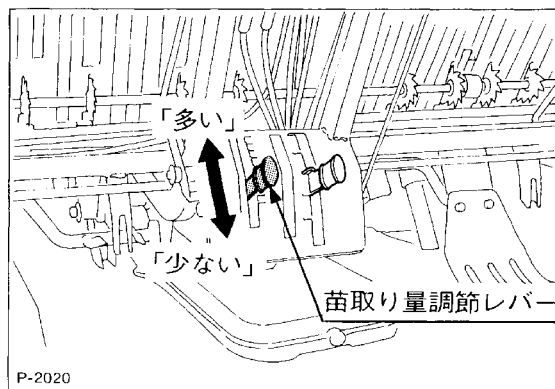
植付け作業を開始して植付け本数・植付け深さなどが希望どおりになっているかどうかをチェックし、希望どおりになっていなければそれぞれ調節してから連続植付けを行なってください。

#### ◆苗取り量調節レバー

植付け本数の調節は、苗取り量調節レバーで行なってください。

「多い」………レバーを上方にセットすると、植付け本数が多くなります。

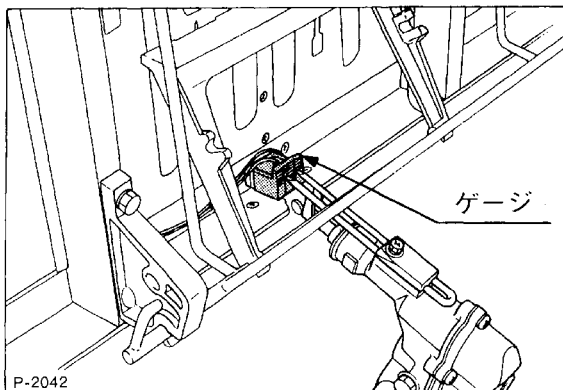
「少ない」………レバーを下方にセットすると、植付け本数が少なくなります。



#### ◆植付け爪ごとの植付け本数調節

- (1) 各条の植付け爪のうち、特定の爪の苗取り本数がいつも多いとか少ないとかの現象があれば、ゲージ合せをしてください。

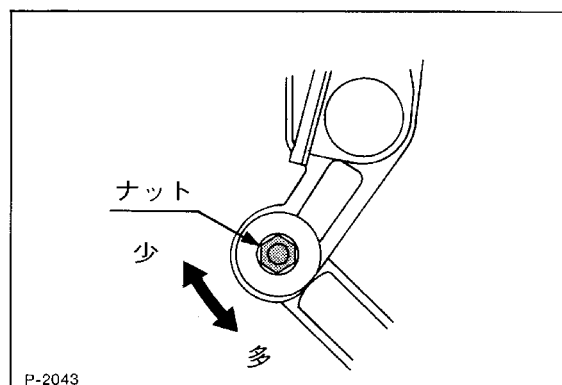
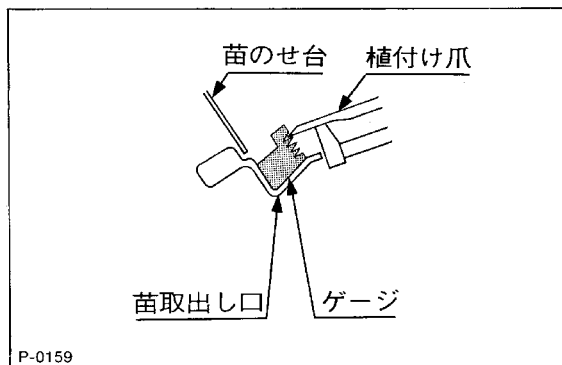
ゲージ合せの結果、特に多い爪又は少ない爪があれば、連結軸の取付けナットをゆるめてボルトを回し、植付け爪が苗のせ台の中に入る量を調節してください。



- (2) 植付けアームの爪取付けボルトが接触しないことを確認してください。

**注意**

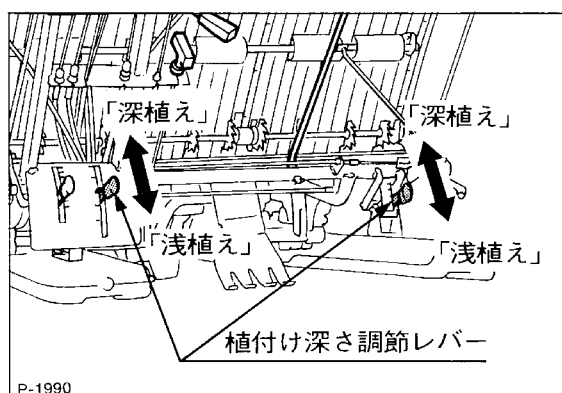
- 最大取り量17mm以上にしないようにしてください。苗取り量調節レバーを最も「多い」の位置にして、ゲージの一番上の溝に植付け爪先端を合わせてください。

**◆植付け深さ調節レバー**

植付け深さの調節は、植付け深さ調節レバーで行なってください。

「深植え」………レバーを上方にセットすると深植えになります。

「浅植え」………レバーを下方にセットすると浅植えになります。

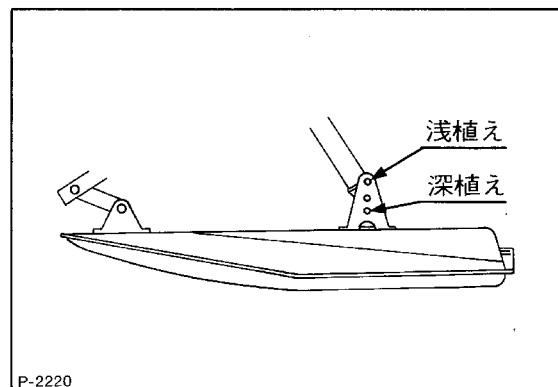


- (1) 植付け深さは、2～3cmが標準です。
- (2) 草丈の長い苗は幾分深いめに、短い苗は浅いめに調節してください。

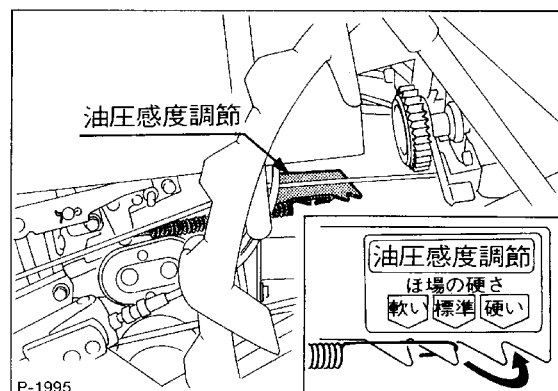
**注意**

- S<sub>1</sub>-40は3箇所のレバーを同じ位置に調節してください。

- S<sub>1</sub>-20Sの場合は、ほ場条件(硬さ)に応じて後ろフロートのピン差し換えにより、植付け深さの調節範囲を広くできます。

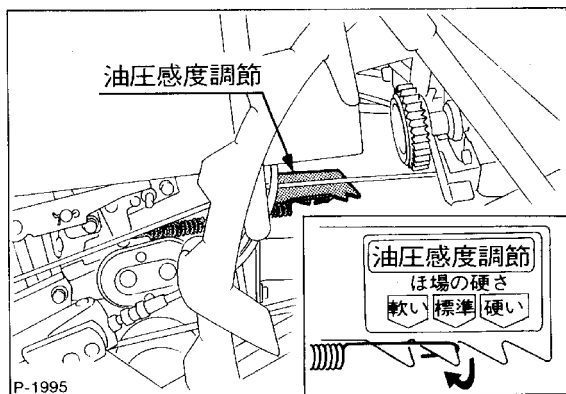
**◆耕うん、代かきが十分でないほ場****注意**

- 土塊のため良い植付けができませんので、耕うん、代かきはいねいに行なってください。
- (1) 茎の堅い健苗を使ってください。徒長苗は使わないでください。
  - (2) 水深はできるだけ浅水にしてください。
  - (3) 感知圧を高くし(油圧感度調節を「硬い」の位置にセットする)、整地を強くしてください。



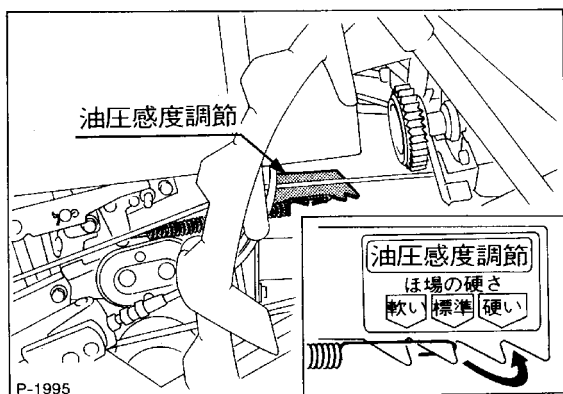
### ◆ほ場の表面が軟かすぎる場合

- (1)水を落とし、植付け日を延ばして表面を硬くしてください。
- (2)前進速度を遅くします。
- (3)やや深い目(3~4cm)に植付けます。
- (4)感知圧を低くする。(油圧感度調節を「軟い」の位置にセットします)



### ◆ほ場の表面が硬すぎる場合

- (1)表面を軽く代かきをして植えごろの硬さにしてください。
- (2)感知圧を高くします。(油圧感度調節を「硬い」の位置にセットします)



### ■苗ステアの調節

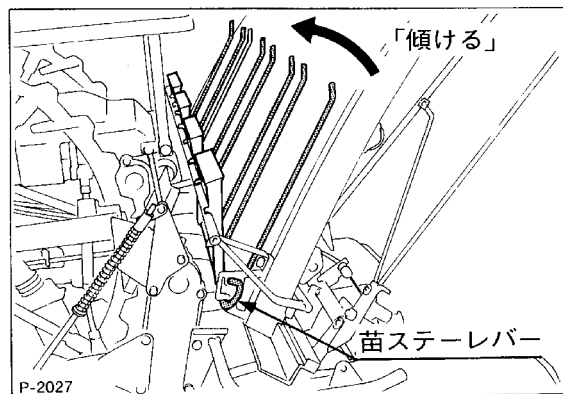
苗ステアは、苗床を軽く押えて苗の崩れ落ちを防止します。

次のような苗を使うときに使用してください。

- (1)根張りの悪い苗
- (2)苗床が薄く、崩れやすい苗

### ◆苗の取出し

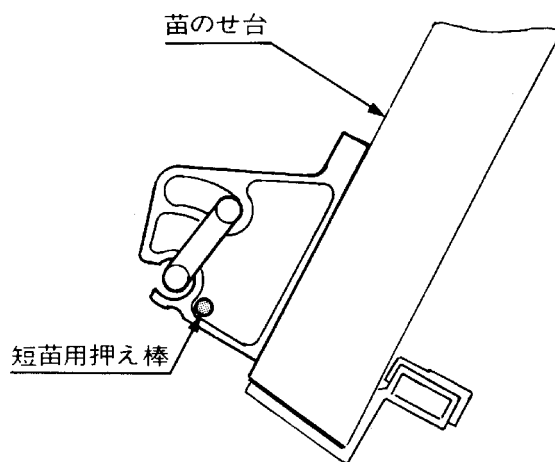
- ①苗のせ台の苗ステアレバーを引き、上方に傾けますと苗の取出しが容易です。
- ②苗ストッパなど使用するときも同じ要領でお使いください。



### ◆短苗用苗押え棒 (S1-40標準付属品)

植付け苗が10cm以下のときは、標準付属の短苗用押え棒をご使用ください。

同封の平座金を入れ、割ピンで抜けないように取付けます。



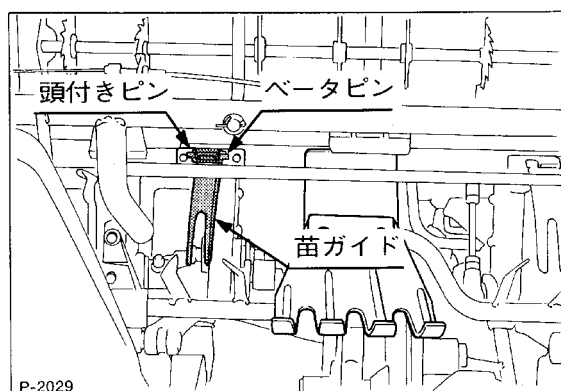
### 注意

- 10cm以上の苗には使わないようにしてください。  
植付け不良の原因となります。

### ■苗ガイドの取外し方

苗が長く徒長ぎみのとき、苗ガイドを取外してお使いください。

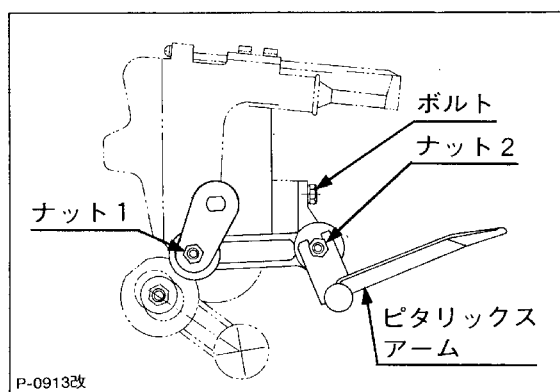
- ①ベータピンを外します。
- ②頭付きピンを抜きます。



## ■ピタリックスアームの取外し方

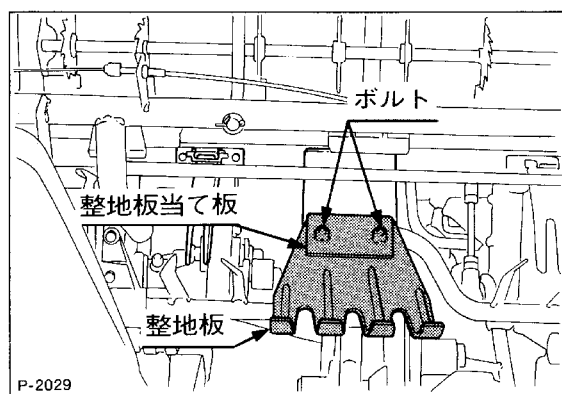
深い水田や深水軟弱ほ場で使われると、ピタリックスアーム(土寄せ装置)が植付け姿勢を乱すことがあります。このようなときは、ピタリックスアームを取外してお使いください。

- ①ナット1, ナット2をゆるめます。
- ②ボルト左右4本を取外すとピタリックスアームが取外せます。
- ③取外したボルト・ナットは大切に保管してください。



## ■整地板の調節

- (1)比較的硬いほ場で車輪跡の凹凸が気になる場合は、整地板を「下げ」てお使いください。



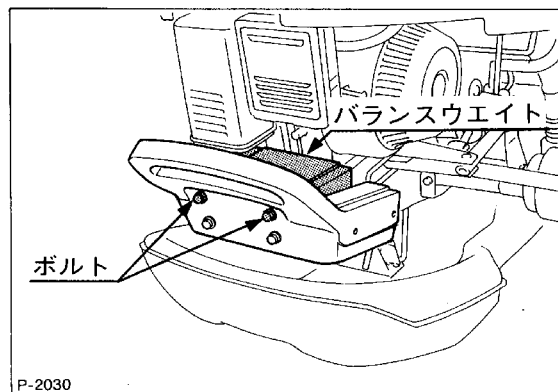
- (2)深田で軟かいほ場では、整地板を「上げ」てお使いください。

## ■バランスウエイト【S1-40】

ほ場の条件によって、機体のバランスが変わることがあります。

### ●バランスウエイトが必要な場合

- (1)耕深が25cm以上の場合。
- (2)フロート後部が沈みやすく、フロートの跡が溝になるようなとき。
- (3)ハンドルの手元荷重が重く、ハンドルを持上げて運転するようなとき。



### 注意

- (1)バランスウエイトは、D、HDはオプション部品です。お近くの販売店にご注文ください。
  - (2)注文されたバランスウエイトがないときは、エンジン先端部のプロテクター部に、3～5 kg程度の重量物を載せて代替品としてください。
- バランスウエイトがあると、運転操作は非常に楽になります。

| 品 名     | 品 番          | 数量  |
|---------|--------------|-----|
| ウエイトアッシ | 41584-9310-0 | 1 個 |

# 田植機の簡単な手入れと処置

## 各部の点検と交換

定期点検表に従って必ず定期点検を実施してください。

### 安全ポイント

- (1)給排油・点検整備時は必ずエンジンを停止してください。
- (2)作業中は火気厳禁です。
- (3)機械は平たんな場所におき、安全を確認してから行なってください。

### ■点検・注油・調整一覧表

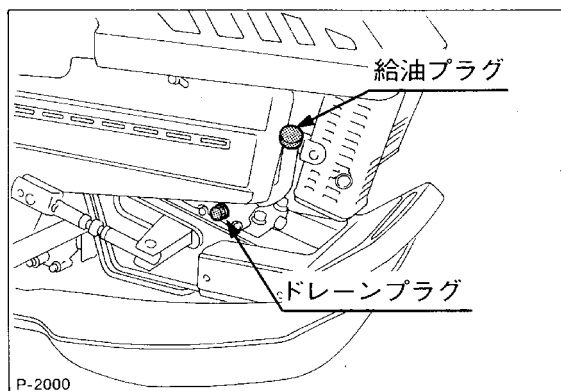
○：点検補給 △：交換

|                       | 項 目             | 毎<br>作<br>業<br>前 | 20<br>時<br>間 | 50<br>時<br>間 | 100<br>時<br>間 | 備 考                    | 参 照<br>ペ ー ジ |
|-----------------------|-----------------|------------------|--------------|--------------|---------------|------------------------|--------------|
| エ<br>ン<br>ジ<br>ン<br>部 | 燃料              | ○                |              |              |               |                        | 7, 8         |
|                       | エンジンオイルの点検      | ○                | △            | △            | △             | クボタ純オイルG30<br>又はG20    | 25           |
|                       | パイプ・ホース類の点検     |                  |              |              |               | 2年毎交換                  | 25           |
|                       | エアークリーナエレメントの清掃 |                  |              | ○            | ○             | 50時間毎清掃                | 26           |
|                       | スパークプラグの掃除      |                  |              |              |               | 毎シーズン始め                | 26           |
| 走<br>行<br>部           | ミッションオイルの点検     |                  |              | △            | △             | クボタ純オイルM80B            | 25           |
|                       | クラッチの調整         |                  |              |              |               | 毎シーズン始め                | 27, 28       |
|                       | チェーンケース         | 分解時にグリース補給       |              |              |               | クボタスペアグリース<br>(リチューム系) | 販売店          |
| 植<br>付<br>け<br>部      | フィードケース         | 分解時にグリース補給       |              |              |               | クボタスペアグリース<br>(リチューム系) | 販売店          |
|                       | 植付けケース          | 分解時にグリース補給       |              |              |               |                        |              |
|                       | 植付けアーム          |                  |              |              |               | 毎シーズン始め<br>クボタ純オイルM80B | 26           |
|                       | 植付け爪の交換調整       | 爪の曲り，破損時交換調整     |              |              |               |                        | 29           |
| そ<br>の<br>他           | 各ワイヤの点検調整       |                  |              |              |               | 毎シーズン始め                | 27, 28       |

## ■エンジンオイルの交換

### ◆オイルの排出

暖機運転してから先ず給油プラグを外し、その後ドレーンプラグを外してオイルを排出します。



#### 安全ポイント

- オイルを排出するときは、オイルが暖まっているのでヤケドをしないよう注意してください。

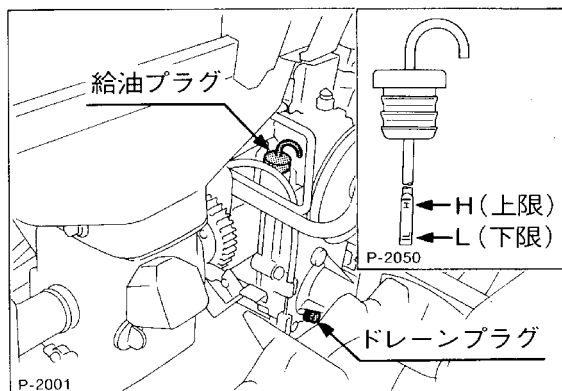
### ◆オイルの給油

ドレーンプラグを締付け、エンジンを水平にしてオイルゲージの上限まで給油し、給油プラグを差込んでください。

## ■ミッションオイルの交換

### ◆オイルの排出

暖機運転してから先ず給油プラグを外し、その後ドレーンプラグを外してオイルを排出します。



#### 安全ポイント

- オイルを排出するときは、オイルが暖まっているのでヤケドをしないよう注意してください。

### ◆オイルの給油

ドレーンプラグを締付け、給油口から適量給油し、給油プラグを締付けてください。

## ■燃料パイプの点検

燃料パイプなどのゴム製品は、使わなくても老化します。締付けバンドと共に2年ごと又は傷んだときに新品と交換してください。

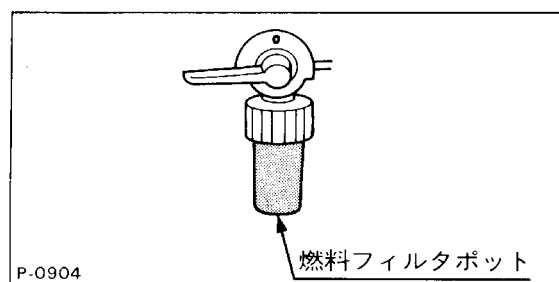
パイプ類や締付けバンドがゆるんだり傷んでいないか、常に注意してください。

#### 安全ポイント

- 燃料パイプが傷んでいると燃料漏れを起し危険ですので、常に点検しましょう。

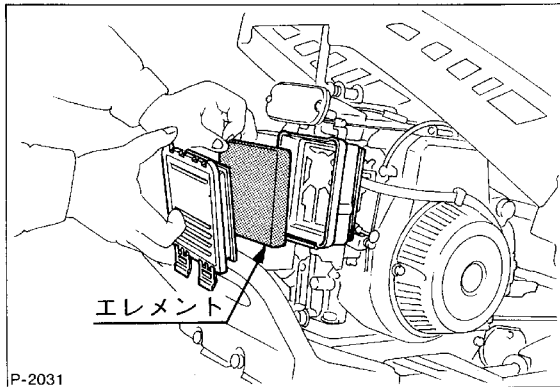
## ■燃料フィルタポットの掃除

燃料コックレバーを「止」にし、燃料フィルタポットを外して、ガソリンできれいに洗浄してください。



## ■エアークリーナエレメントの掃除

- ① ウレタンエレメントを取出し、
- ② エレメントを灯油か軽油でよく洗い、
- ③ エンジンオイルに浸して固く絞ってから、
- ④ 元のように取付けてください。



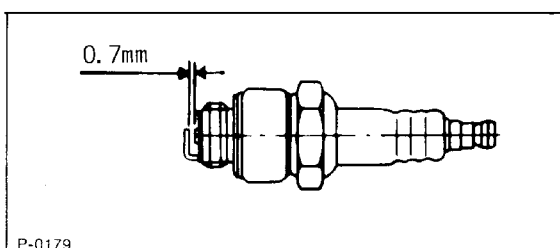
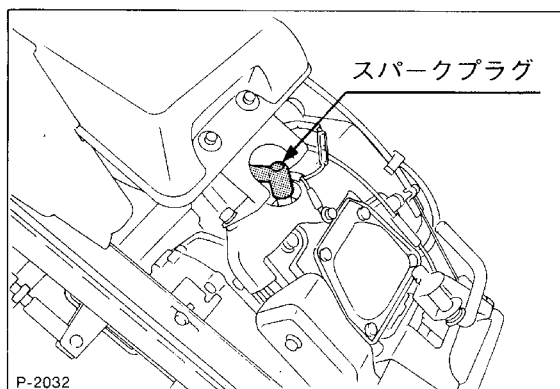
## ■スパークプラグのすきま

- ① ボックススパナでスパークプラグを外してプラグに付着しているカーボンを取除き
- ② 電極のすきまが0.7mmになるよう調整してください。

|       |                               |
|-------|-------------------------------|
| 使用プラグ | デンソー：W14FP-UL 又は<br>NGK：BP4HS |
| 品 番   | 13979-6771-0                  |

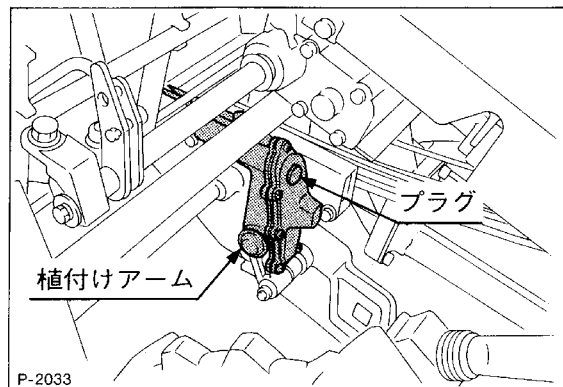
### 注意

- スパークプラグを取付けるときは最初手でねじ込み、その後ボックススパナで締付けてください。最初からボックススパナで締付けると、シリンダヘッドのねじをつぶしてしまうことがあるので、十分ご注意ください。



## ■オイルの補給

シーズン始めに植付けアーム1本当りクボタ純オイルM80Bを2cc補給してください。



## ■マフラ部の清掃

マフラやエンジン周辺部にゴミや燃料の付着などがあると、火災の原因となり危険です。

毎日作業前に点検し、きれいに取除いてください。

## 各部の調整

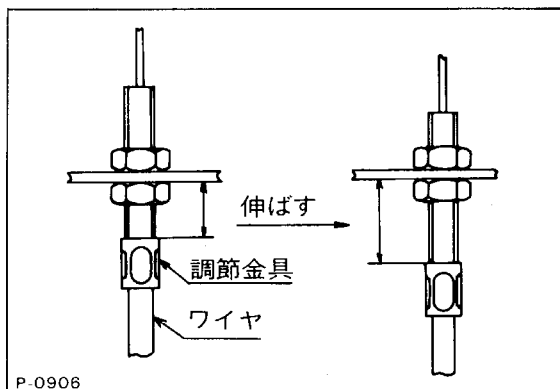
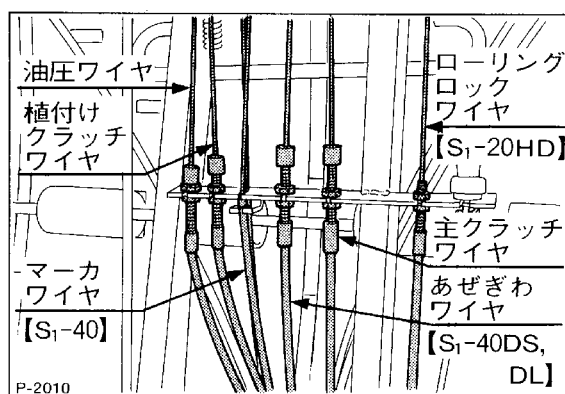
### 安全ポイント

- (1)点検・調整するときは、必ずエンジンを停止してください。
- (2)機械は平たんな場所に置き、特に植付け部を他の物に当たらないよう注意してください。

### ■主クラッチの調整

主クラッチレバーが「切」で確実にクラッチが切れ、レバーを「入」にしたとき確実に動力が伝わるように調整してください。

調整は、主クラッチワイヤの調節金具を伸縮させて行なってください。



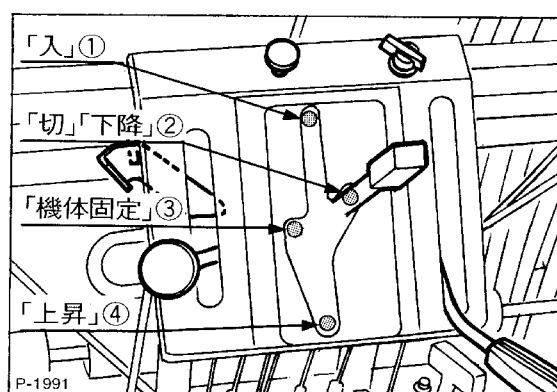
### ■植付けクラッチの調整

植付けクラッチレバーが「切」で確実にクラッチが切れ、レバーを「入」にしたとき、確実に動力が伝わるように調整してください。

調整は、植付けクラッチワイヤの調節金具を伸縮させて行なってください。

#### 注意

- (1)調整は上のナットをゆるめ、下側のナットを2回転ごとにクラッチの「入」「切」具合を確認してください。
- (2)「切」の位置で確実に切れると、③の「機体固定」及び④の「上昇」位置でも確実に切れます。



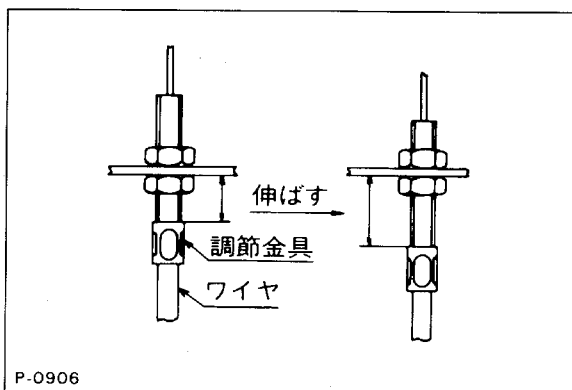
### ■油圧ワイヤの調整

- ①植付けクラッチレバーを「機体固定」にしたのに機体下がる場合は、油圧ワイヤの調節金具をワイヤが伸びる方向に調整してください。

ただし、レバーが「切」では機体下がることを確認してください。

- ②植付けクラッチレバーを「機体固定」にしたのに機体上昇する場合は、油圧ワイヤの調節金具をワイヤが縮む方向に調整してください。

ただし、レバーが「上昇」では機体上昇することを確認してください。



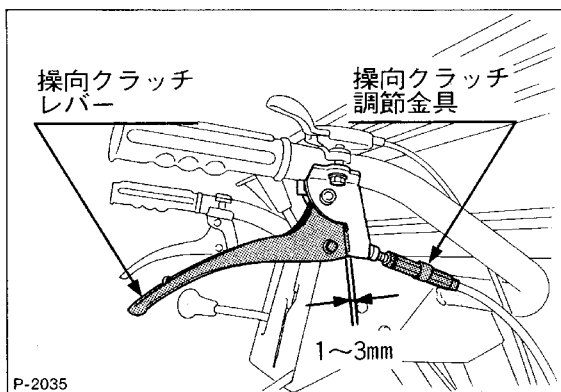
## ■操向クラッチの調整

操向クラッチが切れにくいときや入りにくいときは、ロックナットをゆるめて調節金具で調整してください。

切れにくいとき……左に回して長くする

入りにくいとき……右にねじ込んで短くする

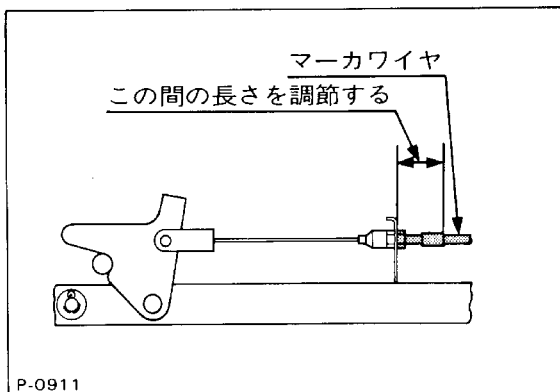
レバーの遊びは、「入」位置で1～3mm程度に調整してください。



## ■マーカワイヤの調整【S<sub>1</sub>-40】

マーカ操作レバーを倒したときマーカが下がりすぎる場合、又は植付けクラッチレバーを「切」にしたとき自動的に収納しない場合は、ロックナットをゆるめてマーカワイヤのアウタで調整してください。

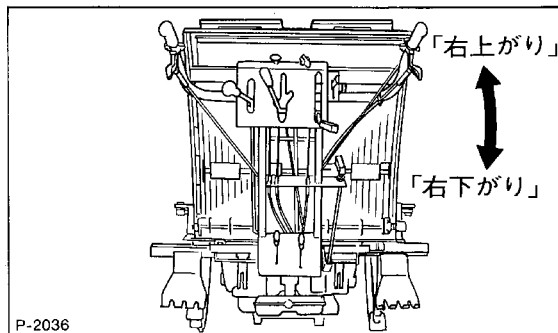
下がりすぎるとき……右にねじ込んで短くする  
収納しないとき……左に回して長くする



## ■ローリングの調整

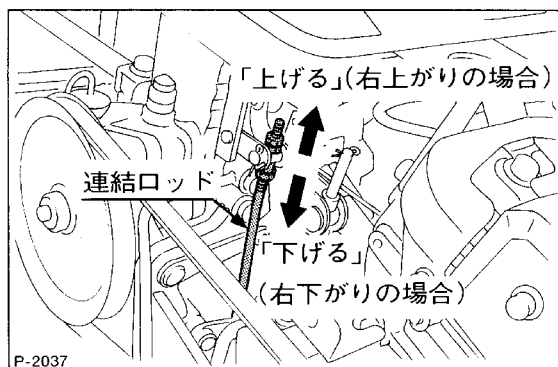
### 【S<sub>1</sub>-20HD, HDF, S<sub>1</sub>-40HD, HDF】

植付け中は自動的に油圧が働いて機体を水平に保ちますが機体が左または右に傾向的にかたむく場合には、水平になるよう調整してください。



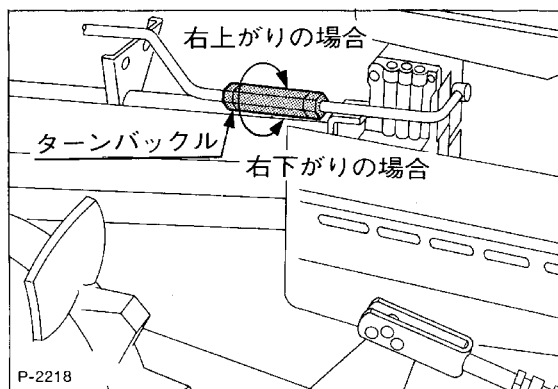
### 【S<sub>1</sub>-20HD, HDF】

エンジンが回っている状態で、路上などの平らなところに機体を置いたとき、機体がかたむいて、左右のハンドル高さが違う場合は、連結ロッドの長さを調整して、ハンドルが同じ高さになるようにしてください。



### 【S<sub>1</sub>-40HD, HDF】

試し植えをして、機体が水平になるようにターンバックルを調整してください。

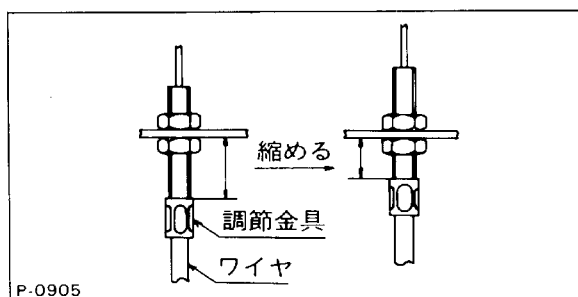


#### 注意

- (1)調整作業時は、必ずエンジンを「停止」してください。
- (2)植付け深さ調節レバーは3ヶ所共、同じ位置に合わせてください。【S<sub>1</sub>-40】

## ■あぜぎわワイヤの調整 【S<sub>1</sub>-40DL, DS】

- ① 植付けクラッチレバーが「切」で機体が固定しないとき、あぜぎわワイヤが伸びる方向に調整してください。
- ② 植付けクラッチレバーが「入」で機体が固定したままのとき、あぜぎわワイヤが縮む方向に調整してください。



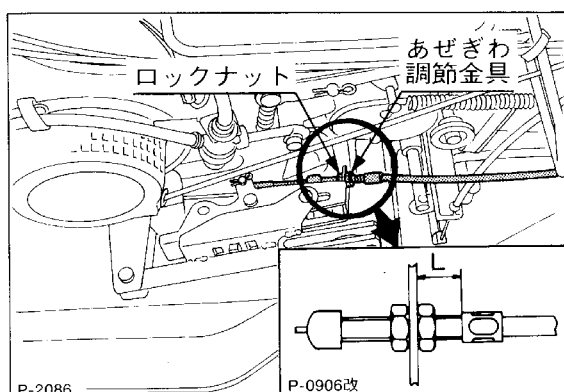
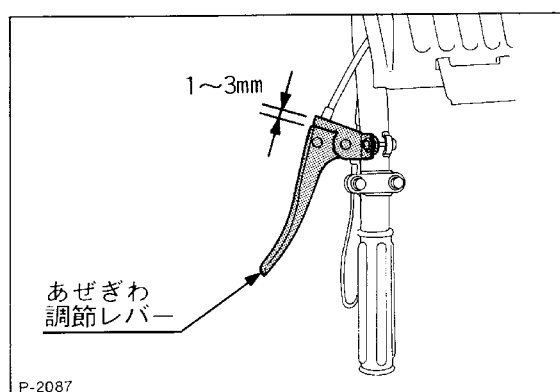
## ■あぜぎわ調節レバーの調整 【S<sub>1</sub>-20DL, DS】

あぜぎわ調節レバーのロックピンが外れないときやロックされないときは、ロックナットをゆるめ調節金具で調整してください。

外れないとき……………下記L寸法を長くする。

ロックされないとき………L寸法を短くする。

レバーの遊びは、「入」位置で1～3mm程度に調整してください。



## ■植付け爪の交換

植付け爪が摩耗すると植付け状態が悪くなるので、新しい爪と交換してください。

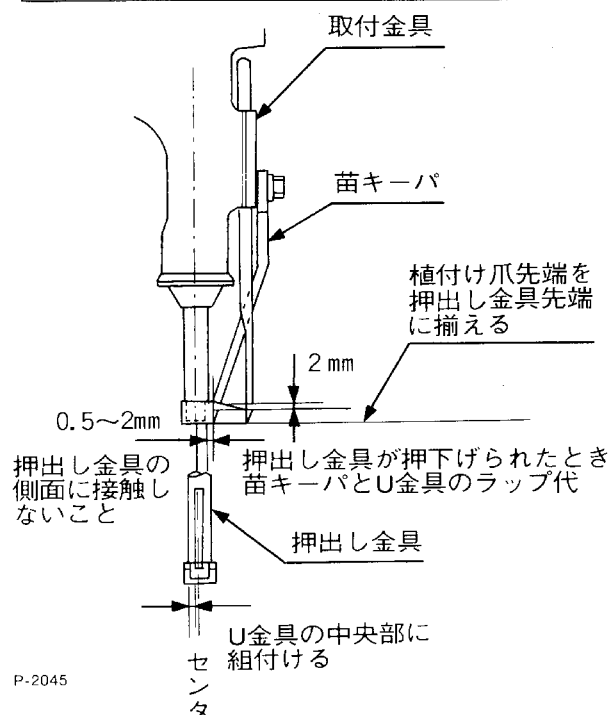
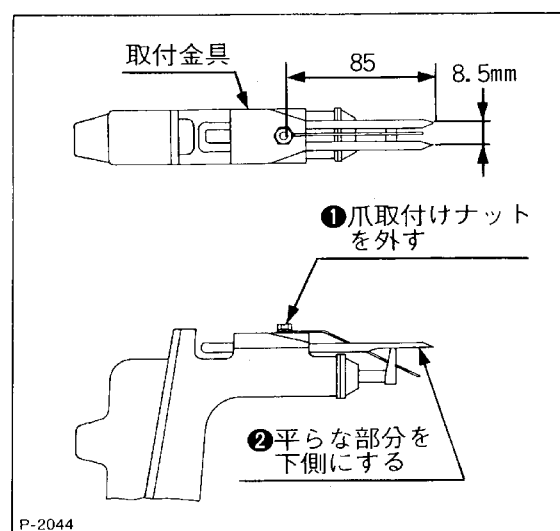
交換するときは、必ず苗キープも同時に交換してください。

### 【注意】

- 植付け爪、苗キープは消耗品ですから、常に1セット予備として準備しておいてください。

| コードNo.       | 部品名称        | 数 量                |                    |
|--------------|-------------|--------------------|--------------------|
|              |             | S <sub>1</sub> -20 | S <sub>1</sub> -40 |
| 41522-5121-0 | ウェツケヅメ(K13) | 2個/1台              | 4個/1台              |
| 41182-5123-0 | ナエキープ       | 2個/1台              | 4個/1台              |

- ① 爪取付けナットを外して爪を外します。
- ② 爪先端の平らな部分を下側にし、爪の先端が押出し金具とそろるように取付け、ナットを確実に締付けてください。



# 長期格納時の手入れ

## ■使用後の手入れ

- (1)各部に付いている土やゴミなどを洗い落とし、水洗後は必ず水をふき取ってください。
- (2)グリース塗付箇所にはグリースを、注油箇所には注油してください。
- (3)植付け爪の先端など、錆やすい所にはグリースを塗ってください。
- (4)各部のゆるみを調べ、増締めをしてください。

## ■長期格納時の注意

- (1)格納は、直射日光や雨の当たらない風通しの良い場所を選んでください。
- (2)燃料タンク内はパイプなどを使用して抜き取り、気化器内の燃料は、燃料コックレバーを「閉」にして、気化器のノブを手で引いて、古いガソリンを全部抜取ってください。

【S<sub>I</sub>-40】

気化器  
排出ノブ

P-2038

【S<sub>I</sub>-20】

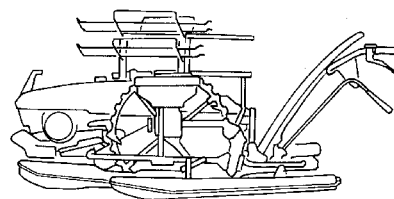
気化器  
排出ノブ

P-2051

- (3)植付け爪は苗取り直前の状態にし、植付け部は下げた状態にしてください。

- (4)各クラッチレバーは「入」の状態にしておいてください。
- (5)スロットルレバーは「低」の方へいっぱい回しておいてください。
- (6)スタータハンドルを引張って、圧縮のあるところ（重く手ごたえがあるところ）で止めておいてください。
- (7)田植機を保管する時や放置する時は、油圧を下げ車輪を上げますと機体は安定します。  
(植付けクラッチレバーを「切」り、機体は水平にしておきます。S<sub>I</sub>-20HDでは、ローリングロックレバーを「路上」にし、機体を固定します。)

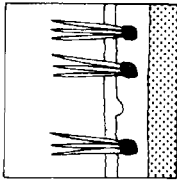
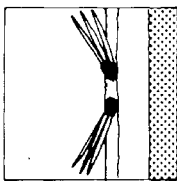
このような姿勢で田植機を置く

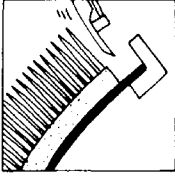
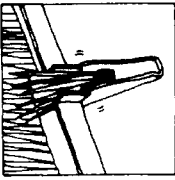
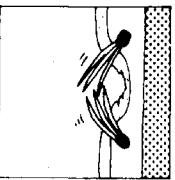


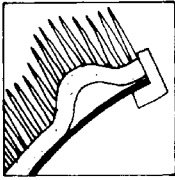
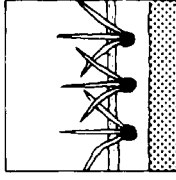
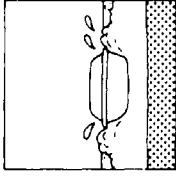
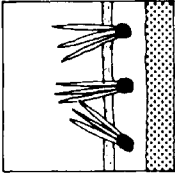
P-2039

- (8)フロートに無理な力をかけて、変形させないようにしてください。
- (9)施肥装置付は作溝器部に無理な力がかからないようにしてください。
- (10)手入れが済めば、必ず付属の田植機カバーをかけておいてください。

# 田植機の不調と処置

| 不調の内容                                                                                                            | 原因                                                                                               | 処置                                                                                                                                                                      |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|  <p>欠株ができる。</p>               | <b>ほ場</b> 機械 浮き苗。<br><b>機械</b> 苗 植付け爪が苗を取らない。<br><b>機械</b> 苗 縦送りが悪い。                             | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 各原因について、下記の不調の内容の当てはまる項目を参照。</li> </ul>                                                                                        |
|                                                                                                                  | <b>機械</b> 植付け爪が摩耗している。<br><b>苗</b> 苗にムラがある(播種ムラ)。                                                | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 新品と交換する。</li> <li>● ムラの無い苗を使用する。</li> </ul>                                                                                    |
|                                                                                                                  | <b>機械</b> 植付け爪が摩耗している。<br><b>機械</b> 植付け深さが浅過ぎる。                                                  | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 新品と交換する。</li> <li>● 植付け深さを深くする。</li> </ul>                                                                                     |
|                                                                                                                  | <b>機械</b> 苗取り量が少ない。<br><b>ほ場</b> 水が多過ぎる。                                                         | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 苗取り量を10mm以上にする。</li> <li>① 水を少なくする。 ② 植付け速度を遅くする。</li> </ul>                                                                   |
|  <p>浮き苗ができる。<br/>(苗が持上がる)</p> | <b>ほ場</b> ほ場の土が軟らかい。<br><b>苗</b> 苗の根張りが悪い。<br><b>苗</b> 床土が砂質でバラけやすい。<br><b>ほ場</b> ほ場の土が硬い。       | <ul style="list-style-type: none"> <li>① ほ場を硬くする。 ② 植付け速度を遅くする。</li> <li>③ 植付け深さをやゝ深くする。</li> <li>● 根張りのよい苗を使う。</li> <li>● 苗床に水分を与える。</li> <li>● 植付け速度を遅くする。</li> </ul> |
|                                                                                                                  | <b>機械</b> 苗取り量が少ない。<br><b>苗</b> 播種量が少な過ぎる。                                                       | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 苗取り量を多くする。</li> <li>● 苗取り量を多くする。</li> </ul>                                                                                    |
|                                                                                                                  | <b>苗</b> 播種ムラ、生育ムラがある。<br><b>苗</b> 苗床が厚過ぎる。                                                      | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 苗取り量を多くする。</li> <li>● 苗床の底面を切落とす。切れない苗は使用しない。</li> </ul>                                                                       |
|                                                                                                                  | <b>機械</b> 植付け爪の間隔が広(狭)過ぎる。<br><b>機械</b> 植付け爪が摩耗している。<br><b>苗</b> 苗床が軟らか過ぎる。<br><b>機械</b> 縦送りが悪い。 | <ul style="list-style-type: none"> <li>① 爪間隔を確認する。(29ページ参照)② 新しい爪と交換する。</li> <li>● 新品と交換する。</li> <li>● 苗床を乾かす。</li> <li>● 不調の内容「縦送りが悪い」の項を参照。</li> </ul>                |

| 不調の内容                                                                                                                   | 原因                                       | 処置                                                                                                                 |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|  <p>苗の縦送りが悪い。</p>                    | <b>■ 苗</b> 苗床の幅が広過ぎる。                    | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 育苗箱の中で横方向に振動を与え、幅を狭くする。</li> </ul>                                        |
|                                                                                                                         | <b>■ 苗</b> 苗床が厚過ぎる。                      | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 苗床の底面を切落とす。切れない苗は使用しない。</li> </ul>                                        |
|                                                                                                                         | <b>■ 苗</b> 根が張りが過ぎている。                   | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 苗床の下に伸びた根を切る。</li> </ul>                                                  |
|                                                                                                                         | <b>■ 苗</b> 苗床が軟らか過ぎ、苗を十分に取らない。           | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 苗床を乾かす。</li> </ul>                                                        |
|                                                                                                                         | <b>■ 苗</b> 苗床が軟らか過ぎたため、横送りによって苗床が変形している。 | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 苗床を乾かす。</li> </ul>                                                        |
|  <p>苗取出し口に苗が溜まる。</p>                 | <b>■ 苗</b> 苗床がバラけて、土がしゅう動板のしゅう動面に溜まる。    | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 苗床に水分を与える。</li> </ul>                                                     |
|                                                                                                                         | <b>機械</b> 植付け爪の摩耗で、苗が十分取れない。             | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 新品と交換する。</li> </ul>                                                       |
|                                                                                                                         | <b>機械</b> 植付け爪が2本そろっていない。                | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 新品と交換する。</li> </ul>                                                       |
|                                                                                                                         | <b>機械</b> 植付け爪の間隔が広過ぎる。又は狭過ぎる。           | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 爪の間隔を確認する。(29ページ参照)</li> </ul>                                            |
|                                                                                                                         | <b>■ 苗</b> 苗床の根が張り過ぎている。                 | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 苗床の下に伸びた苗を切取る。</li> </ul>                                                 |
|  <p>フロート通過跡に泥水が流れ込み、植付けた苗が倒れる。</p> | <b>■ 苗</b> 苗床が厚過ぎる。                      | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 苗床の厚みが4cm以下の苗を使用する。</li> </ul>                                            |
|                                                                                                                         | <b>■ ぼ場</b> ぼ場の土が軟らか過ぎる。                 | <ul style="list-style-type: none"> <li>① ぼ場を硬くする。</li> <li>② バランスウェイトを使って、前バランスに使う。</li> </ul>                     |
|                                                                                                                         | <b>■ ぼ場</b> 水が多過ぎる。                      | <ul style="list-style-type: none"> <li>① 水を少なくする。</li> <li>② 植付け速度を遅くする。</li> <li>③ 土寄せ装置を取外す。(特に不調のとき)</li> </ul> |

| 不調の内容                                                                                                               | 原因                              | 処置                                            |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------|-----------------------------------------------|
| <br>苗のせ台から苗が<br>ずり落ちる。           | <b>■ 苗</b> 苗床が薄過ぎる。             | ● 苗床の厚さが2cm以上の苗を使う。<br>● 苗スレーを苗床の厚さにあわせて調節する。 |
|                                                                                                                     | <b>■ 苗</b> 苗床が軟らか過ぎる。           | ● 苗床を乾かす。                                     |
| <br>植付けた苗がバラ<br>ける。(まとまりが<br>悪い) | <b>■ 機械</b> 押出し金具が苗を十分押出さない。    | ● 押出しバネを交換する。                                 |
|                                                                                                                     | <b>■ 機械</b> 植付け爪の間隔が広過ぎる。       | ● 爪の曲がりを伸ばし、間隔を確認する。(29ページ参照)                 |
|                                                                                                                     | <b>■ 機械</b> 植付け爪が摩耗している。        | ● 新品と交換する。                                    |
|                                                                                                                     | <b>■ 苗</b> 苗床が乾き過ぎている。          | ● 苗床に水分を与える。                                  |
|                                                                                                                     | <b>■ 苗</b> 苗の根張りが悪い。            | ①根張りのよい苗を使う。②植付け速度を遅くする。                      |
|                                                                                                                     | <b>■ ぼ場</b> ぼ場が硬過ぎる。            | ● ぼ場を軟らかくする。                                  |
|                                                                                                                     | <b>■ 機械</b> 植付け速度が速過ぎる。         | ● 植付け速度を遅くする。                                 |
|                                                                                                                     | <b>■ 機械</b> 苗取り量が少な過ぎる。         | ● 苗取り量を多くする。                                  |
|                                                                                                                     | <b>■ 苗</b> 根張りの悪い苗を、ぬらし過ぎている。   | ● 苗床を乾かす。                                     |
|                                                                                                                     | <b>■ 苗</b> 苗と苗との合わせ目がぴたり合っていない。 | ● 苗補給をていねいに行なう。                               |
| <br>フロートが泥を押<br>す。              | <b>■ 機械</b> 苗ガイドに土がつまっている。      | ● 土を去除く。                                      |
|                                                                                                                     | <b>■ ぼ場</b> ぼ場の土が軟らか過ぎる。        | ● ぼ場を硬くする。                                    |
|                                                                                                                     | <b>■ 機械</b> フロートの後部が沈み過ぎる。      | ● バランスウエイトを取付ける。                              |
|                                                                                                                     | <b>■ 機械</b> 感知圧が高過ぎる。           | ● 感知圧を調節する。                                   |
| <br>植付けた苗の姿勢<br>が悪い。           | <b>■ 機械</b> 押出し金具が苗を十分押出さない。    | ● バネを交換する。                                    |
|                                                                                                                     | <b>■ 機械</b> 植付け爪が摩耗している。        | ● 新品と交換する。                                    |
|                                                                                                                     | <b>■ 苗</b> 苗の根張りが悪い。            | ● 根張りのよい苗を使う。                                 |
| <b>■ 機械</b> ピッチングが発生する。                                                                                             | <b>■ 機械</b> 感知圧が低く過ぎる。          | ● 感知圧を調節する。                                   |

# 付表

## 主要諸元

| 型 式              |                           | S <sub>1</sub> -20             |           |                |             |                 |       | S <sub>1</sub> -40 |    |                |     |      |      |
|------------------|---------------------------|--------------------------------|-----------|----------------|-------------|-----------------|-------|--------------------|----|----------------|-----|------|------|
| 区 分              |                           | DL<br>DL2                      | DS<br>DS2 | HDL<br>HDL2    | HDS<br>HDS2 | HDLF            | HDSF  | DL                 | DS | HDL            | HDS | HDLF | HDSF |
| 機<br>体<br>寸<br>法 | 全 長(mm)                   | 2100                           |           |                |             |                 |       | 2180               |    |                |     |      |      |
|                  | 全 幅(作業時)(mm)              | 880(1050)                      |           |                |             |                 |       | 1540(1980)         |    |                |     |      |      |
|                  | 全 高(mm)                   | 920                            |           |                |             |                 |       | 970                |    |                |     |      |      |
| 重 量(kg)          |                           | 89                             | 91        | 91             | 94          | 99              | 102   | 140                |    | 145            |     | 165  |      |
| エ<br>ン<br>ジ<br>ン | 名 称                       | クボタGH100-P                     |           |                |             |                 |       | クボタGH120-P         |    |                |     |      |      |
|                  | 形 式                       | 空冷4サイクルOHVエンジン                 |           |                |             |                 |       |                    |    |                |     |      |      |
|                  | 総 排 気 量(c.c.)             | 98                             |           |                |             |                 |       | 121                |    |                |     |      |      |
|                  | 出 力 / 回 転 速 度<br>(PS/rpm) | 2.3/1800(最大出力3.2)              |           |                |             |                 |       | 2.8/1800(最大出力4.0)  |    |                |     |      |      |
|                  | 使 用 燃 料                   | 自動車用無鉛ガソリン                     |           |                |             |                 |       |                    |    |                |     |      |      |
|                  | 燃料タンク容量(ℓ)                | 2.7                            |           |                |             |                 |       |                    |    |                |     |      |      |
|                  | 点 火 方 式                   | 無接点式マグネット点火                    |           |                |             |                 |       |                    |    |                |     |      |      |
|                  | 始 動 方 式                   | 手元リコイルスタータ                     |           |                |             |                 |       |                    |    |                |     |      |      |
| 走<br>行<br>部      | 車 輪 調 節                   | 油圧式(上下)                        |           | 油圧式(上下, ローリング) |             |                 |       | 油圧式(上下)            |    | 油圧式(上下, ローリング) |     |      |      |
|                  | 車 種                       | ゴムラグ車輪                         |           |                |             |                 |       |                    |    |                |     |      |      |
|                  | 輪 外 径(mm)                 | 620                            |           |                |             |                 |       | 660                |    |                |     |      |      |
|                  | 変 速 段 数(段)                | 前進 2 (植付 1) ・ 後進 1             |           |                |             |                 |       |                    |    |                |     |      |      |
| 植<br>付<br>部      | 植 付 条 数(条)                | 2                              |           |                |             |                 |       | 4                  |    |                |     |      |      |
|                  | 植 付 条 間(cm)               | 30                             |           |                |             |                 |       |                    |    |                |     |      |      |
|                  | 植 付 株 間(cm)               | 12                             |           |                |             |                 |       | 14                 | 16 | 18             |     |      |      |
|                  | 植付株数(株/3.3㎡)              | 90                             |           |                |             |                 |       | 80                 | 70 | 60             |     |      |      |
|                  | 植 付 深 さ(cm)               | 1.0～4.5(5段)                    |           |                |             |                 |       |                    |    |                |     |      |      |
|                  | 一株本数調節方法                  | 苗横送り(2段)及び、縦かき取り量(8～18mm)      |           |                |             |                 |       |                    |    |                |     |      |      |
| 植 付 速 度(m/秒)     |                           | 0.3～0.6(スリップ率15%)              |           |                |             |                 |       |                    |    |                |     |      |      |
| 路上走行速度(km/h)     |                           | 4.5                            |           |                |             |                 |       |                    |    |                |     |      |      |
| 作 業 能 率(分/10a)   |                           | 58                             |           |                |             |                 |       | 39                 |    |                |     |      |      |
| 苗<br>の<br>条<br>件 | 苗 の 種 類                   | マット苗                           |           |                |             |                 |       |                    |    |                |     |      |      |
|                  | 草 丈(cm)                   | 10～25                          |           |                |             |                 |       |                    |    |                |     |      |      |
|                  | 葉 令(葉)                    | 2～4.5                          |           |                |             |                 |       |                    |    |                |     |      |      |
| 予 備 苗 と う 載 数(箱) |                           | 1 (2 : DL2, DS2, HDL2, HDS2仕様) |           |                |             |                 |       | 4                  |    |                |     |      |      |
| 装 備              |                           | ――                             |           |                |             | 施肥装置,<br>線引きマーカ |       | ――                 |    |                |     | 施肥装置 |      |
| 安全鑑定適合番号         |                           | 15101                          | 15102     | 15101          | 15102       | 15101           | 15102 | 15103              |    |                |     |      |      |

## 主な消耗部品一覧表

P-2033

P-1911

| 図番 | 品 名         | 品 番          | 個 数                |                    |
|----|-------------|--------------|--------------------|--------------------|
|    |             |              | S <sub>1</sub> -20 | S <sub>1</sub> -40 |
| 1  | ナエキーパ       | 41182-5123-0 | 2                  | 4                  |
| 2  | ウェツケツメ(K13) | 41522-5121-0 | 2                  | 4                  |

P-2029

P-1507  
P-1745

| 図番 | 品 名  | 品 番          | 個 数                |                    |
|----|------|--------------|--------------------|--------------------|
|    |      |              | S <sub>1</sub> -20 | S <sub>1</sub> -40 |
| 1  | ウケ 2 | 44366-4613-4 | 3                  | 2                  |
| 2  | ウケ 3 | 45403-4614-0 | —                  | 2                  |

P-2032

P-0179

| 図番 | 品 名     | 品 番          | 個数 |
|----|---------|--------------|----|
| 1  | スパークプラグ | 13979-6771-0 | 1  |

## 付属部品

次の部品が付属していますのでお調べください。

|              |                       |         |   |                               |   |
|--------------|-----------------------|---------|---|-------------------------------|---|
| ●保証書         | 1                     | ●苗すくい板  | 1 | ●工具                           |   |
| ●納入品安全説明書    | 1                     | ●ゲージ    | 1 | 17-21ボックススパナ                  | 1 |
| ●安全のしおり      | 1                     | ●じょうご   | 1 | ⊕⊖ドライバ                        | 1 |
| ●安全五憲章       | 1                     | ●車軸ピン   | 4 | 8-10スパナ                       | 1 |
| ●取扱説明書       | 1                     | ●平座金    | 4 | 12-14スパナ                      | 1 |
| ●ギヤ(13オクリ20) | 1                     | ●スナップピン | 4 | 14-17スパナ                      | 1 |
| ●ギヤ(20オクリ20) | 1                     | ●苗おさえ   | 1 | プライヤ                          | 1 |
| ●植付け爪(K13)   | 2【S <sub>1</sub> -20】 | ●割ピン    | 2 | 12ソケットレンチ                     | 1 |
|              | 4【S <sub>1</sub> -40】 | ●平座金    | 2 | ボックススパナ21【S <sub>1</sub> -40】 | 1 |
|              |                       |         |   | 工具袋                           | 1 |

## オプション部品

| 品 番          | 品 名                 | 適 用 機 種            |                    | 備 考                      |
|--------------|---------------------|--------------------|--------------------|--------------------------|
|              |                     | S <sub>1</sub> -20 | S <sub>1</sub> -40 |                          |
| 41522-9310-0 | ギヤ, キット(カブマ20, 24)  | ○                  | ○                  | 株間20cm, 24cm             |
| 41522-9350-0 | ウエツケヅメ, キット(I13)    | ○                  |                    | 板爪(アイ爪)                  |
| 41572-9350-0 | ウエツケヅメ, キット(I13)    |                    | ○                  | 板爪(アイ爪)                  |
| 41584-9310-0 | ウエイト, アッシ           |                    | ○                  | D, HD仕様のみ適用              |
| 41522-9340-0 | ステー, キット(ヨビナエダイ)    | ○                  |                    | 予備苗 2 枚塔載<br>D, HD仕様のみ適用 |
| 41522-9320-0 | ギヤ, キット(ヨコオクリ16, 2) | ○                  |                    | 横送り16回取り                 |
| 41572-9320-0 | ギヤ, キット(ヨコオクリ16, 4) |                    | ○                  | 横送り16回取り                 |
| 41522-9330-0 | ギヤ, キット(ヨコオクリ18)    | ○                  | ○                  | 横送り18回取り                 |
| 41572-9380-0 | マーカ, キット(リンセツ)      |                    | ○                  | 隣接マーカ                    |
| 41572-9100-0 | ゴムシャリン, キット(T)      |                    | ○                  | 低反力車輪                    |
| 41524-8410-0 | マーカ, キット            | ○                  |                    | 線引きマーカ<br>(F仕様は標準装備)     |

## クボタ純オイル

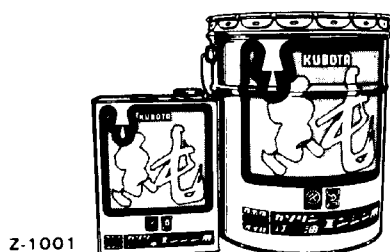
オイルは**クボタ純オイル**をお使いください。

●オイルは田植機の開発研究から生まれたクボタ純オイルをお使いください。

■エンジンには

**クボタ純オイル** G 30又は G 20

ガソリン・灯油エンジン用



Z-1001

■グリースアップには

**クボタスペアグリース**



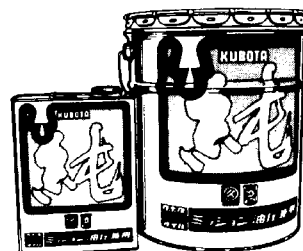
Z-1005

60 100 400

■田植機本体には

**クボタ純オイル** M80 B

ミッション用



Z-1003

いずれもクボタが品質保証する最も適したオイルです。

お買い求めは、販売店・農協又は日本石油・コスモ石油・共同石油・昭和シェル石油のスタンドに御用命ください。

## 補修用部品の供給年限について

---

この製品の補修用部品の供給年限(期間)は、製造打ち切り後 9 年といたします。

ただし、供給年限内であっても、特殊部品につきましては、納期等についてご相談させていただく場合もあります。

補修用部品の供給は、原則的には、上記の供給年限で終了いたしますが、供給年限経過後であっても、部品供給のご要請があった場合には、納期及び価格についてご相談させていただきます。

## 純正部品を使いましょう

---

補修用部品は、安心してご使用いただける純正部品をお買い求めください。市販類似品をお使いになりますと、機械の不調や、機械の寿命を短くする原因になります。

## 純正アタッチメントを使いましょう

---

純正アタッチメントは、一番よくマッチするように研究され、徹底した品質管理のもとで生産・出荷していますので、安心して使っていただけます。市販類似品をお使いになりますと、作業能率の低下や機械の寿命を短くする原因になります。

# 株式会社クボタ

|                   |                               |         |           |           |
|-------------------|-------------------------------|---------|-----------|-----------|
| 本 社               | 社：大阪市浪速区敷津東1丁目2番47号           | 〒556    | 電(06)     | 648-2111  |
| 京 都 支 社           | 社：東京都中央区日本橋室町3丁目1番3号          | 〒103    | 電(03)     | 3245-3111 |
| 北 海 道 支 社         | 社：札幌市中央区北3条西3丁目1番地44(札幌富士ビル)  | 〒060    | 電(011)    | 214-3111  |
| 東 北 支 社           | 社：仙台市青葉区本町2丁目15番11号           | 〒980    | 電(022)    | 267-9000  |
| 中 部 支 社           | 社：名古屋市市中村区名駅3丁目22番8号(大東海ビル)   | 〒450    | 電(052)    | 564-5111  |
| 九 州 支 社           | 社：福岡市博多区博多駅前3丁目2番8号(住友生命博多ビル) | 〒812    | 電(092)    | 473-2401  |
| 札 幌 支 店           | 店：札幌市西区西町北16丁目1番1号            | 〒063    | 電(011)    | 662-2121  |
| 仙 台 支 店           | 店：名取市田高字原182番地の1              | 〒981-12 | 電(022)    | 384-5151  |
| 東 京 支 店           | 店：浦和市西堀5丁目2番36号               | 〒338    | 電(048)    | 862-1121  |
| 大 阪 支 店           | 店：大阪市浪速区敷津東1丁目2番47号           | 〒556    | 電(06)     | 648-2111  |
| 岡 山 支 店           | 店：岡山市栄275番地                   | 〒703    | 電(0862)   | 79-4511   |
| 福 岡 支 店           | 店：福岡市東区和白丘2丁目2番76号            | 〒811-02 | 電(092)    | 606-3161  |
| 堺 製 造 所           | 所：堺市石津北町64番地                  | 〒590    | 電(0722)   | 41-1121   |
| 宇 都 宮 工 場         | 場：宇都宮市平出工業団地22番地2             | 〒321    | 電(0286)   | 61-1111   |
| 筑 波 工 場           | 場：茨城県筑波郡谷和原村字坂野新田10番地         | 〒300-22 | 電(029752) | 5112      |
| 枚 方 製 造 所         | 所：枚方市中宮大池1丁目1番1号              | 〒573    | 電(0720)   | 40-1121   |
| 堺 部 品 セ ン タ ー     | ー：堺市築港新町3丁8番                  | 〒592    | 電(0722)   | 45-8601   |
| 宇 都 宮 部 品 セ ン タ ー | ー：宇都宮市平出工業団地38-16             | 〒321    | 電(0286)   | 63-6336   |
| 北 海 道 部 品 セ ン タ ー | ー：北海道札幌郡広島町字大曲186-37          | 〒061-12 | 電(011)    | 376-2335  |
| 筑 波 部 品 セ ン タ ー   | ー：茨城県筑波郡谷和原村字坂野新田10番地         | 〒300-22 | 電(029752) | 2293      |
| 枚 方 部 品 セ ン タ ー   | ー：枚方市中宮大池1丁目1番1号              | 〒573    | 電(0720)   | 40-1797   |
| 株式会社クボタアグリ東北      |                               |         |           |           |
| 秋 田 事 業 所         | 所：秋田市寺内字大小路207-54             | 〒011    | 電(0188)   | 45-1601   |
| 仙 台 事 業 所         | 所：宮城県名取市田高字原182-1             | 〒981-12 | 電(022)    | 384-5151  |
| 株式会社クボタアグリ東京      |                               |         |           |           |
| 東 京 事 業 所         | 所：浦和市西堀5-2-36                 | 〒338    | 電(048)    | 862-1121  |
| 新 潟 事 業 所         | 所：新潟市上所上1-14-15               | 〒950    | 電(025)    | 285-1261  |
| 株式会社クボタアグリ大阪      |                               |         |           |           |
| 金 沢 事 業 所         | 所：石川県松任市下柏野町956-1             | 〒924    | 電(0762)   | 75-1121   |
| 名 古 屋 事 業 所       | 所：愛知県一宮市観音町1-1                | 〒491    | 電(0586)   | 24-5111   |
| 大 阪 事 業 所         | 所：大阪市浪速区敷津東1-2-47             | 〒556    | 電(06)     | 648-2111  |
| 株式会社クボタアグリ中四国     |                               |         |           |           |
| 米 子 事 業 所         | 所：米子市米原7丁目1番1号                | 〒683    | 電(0859)   | 33-5011   |
| 岡 山 事 業 所         | 所：岡山市栄275                     | 〒703    | 電(0862)   | 79-4511   |
| 高 松 事 業 所         | 所：香川県綾歌郡国分寺町国分字向647-3         | 〒769-01 | 電(0878)   | 74-5091   |
| 株式会社クボタアグリ九州      |                               |         |           |           |
| 福 岡 事 業 所         | 所：福岡市東区和白丘2-2-76              | 〒811-02 | 電(092)    | 606-3161  |
| 熊 本 事 業 所         | 所：熊本県下益城郡富合町大字廻江846-1         | 〒861-41 | 電(096)    | 357-6181  |